大阪消防

特集 第53回 消防救助技術
近畿地区指導会

2025年 大阪・関西万博
～ 万博会場は私たちが守ります！ ～

次世代のテクニカルレスキューカメラ
～ FIRSTLOOK360LR ～

市民表彰

令和7年 10月号 No.907

団体割引適用で割安！
※❹を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会　職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

❶ 消防職員傷害保険
団体割引適用 30%
傷害総合保険
募集時期■7月～8月 1月～2月　2月～4月（新採用プラン）

❷ 消防職員医療保険
団体割引適用 30%
過去の損害率による割増10% 適用
医療保険基本特約・疾病保険特約・傷害保険特約セット団体総合保険

❸ 弁護のちから
団体割引適用 30%
過去の損害率による割増10% 適用
弁護士費用総合補償特約セット団体総合保険
募集時期■7月～8月

❹ 消防職員賠償責任保険
救命救急士の専門業務も補償！
年間保険料 4,000円
公務員賠償責任保険（消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行為被害対応費用担保特約条項等付帯）
募集時期■1月～2月 7月～8月

❺ 消防職員がん保険
団体総合生活保険（がん補償）
募集時期■1月～3月
団体割引適用 20%

❻ 消防職員介護保険
団体総合生活保険（介護補償）
募集時期■1月～3月
団体割引適用 20%

❼ 消防退職者医療保険
団体総合生活保険（医療補償）
募集時期■1月～3月
団体割引・損害率による割引適用 約40%

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社
一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館12階　TEL:03-6807-5691（代）（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）

＜引受保険会社＞
損害保険ジャパン株式会社　団体・公務開発部第三課　TEL.03-3349-5408（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）
東京海上日動火災保険株式会社　広域法人部法人第一課　TEL.03-3515-4147（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）

SJ24-10428（2024/11/15）
24TC-004943（2024年11月作成）

CONTENTS

大阪消防10

表紙：夜の大屋根リングと万博 PI

01：コンテンツ／災害概況
02：特集 第53回 消防救助技術近畿地区指導会
06：2025年 大阪・関西万博
～ 万博会場は私たちが守ります！～
08：共に学び共に成長
10：ケイボウタイムズ
12：イクキュー
14：明日に備えて過去に学ぶ
15：No more！事故
16：Just Do It！
18：コマンドアイ
20：救急いろは
22：実録!! 調査鑑識
24：We are Rookies！
26：大阪の消防NEWS
28：ココ改善！
29：次世代のテクニカルレスキューカメラ
～ FIRSTLOOK360LR ～
30：落語DE火の用心
31：自衛消防隊紹介 ／ 女性防火クラブだより
32：市民表彰 ／ アニマル環状線
33：人材育成のヒント
34：【職務】令和６年中の規制対象物における
火災発生状況（2）
36：教えて○○課！
37：健康ダイアリー
38：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
39：消防漢字ガール
40：救急安心センターおおさかだより ／ 編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
8月中件数	0	3	14	28	45	4	0	0	9	58
令和7年 8月末累計	15	14	106	267	402	23	0	0	70	495
令和6年 8月末累計	11	16	123	255	405	28	1	2	53	489
累計比較	4	▲2	▲17	12	▲3	▲5	▲1	▲2	17	6

◎救急概況

	救急出場
8月中件数（概数）	23,789
令和7年 8月末累計	177,114
令和6年 8月末累計	180,594
累計比較	▲3,480

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 8月末累計	3,102	880	1	833
令和6年 8月末累計	3,129	869	0	769
累計比較	▲27	11	1	64

第53回
消防救助技術近畿地区指導会

2025.7.19

令和7年7月19日（土）、兵庫県広域防災センターにて開催された第53回消防救助技術近畿地区指導会に、当局から63名の隊員が参加しました。8月30日（土）に開催される全国消防救助技術大会を目指して、強化隊員たちは日ごろの訓練成果を存分に発揮しました。

陸上の部　第1中隊長
引揚救助

西成消防署
消防司令補
嵯峨　慶彦

「憧れの舞台」。ここにたどり着くため、何度も何度も挫折を味わい、自分のふがいなさを感じ、それに打ちのめされ、それでも諦めることなく憧れ続けた。強化訓練が開始されて約3カ月、挫折や困難を乗り越えて、たどり着くことができた舞台。

この舞台に立つまでには、励まし合い切磋琢磨してきた強化隊員の仲間たち、どんな時も寄り添ってくれた指導員の方々、いつも笑顔で送り出し、優しい言葉で迎えてくれた所属の方々、家事子育てが忙しい中、全力でサポートし応援してくれた家族、様々な「絆」に支えられました。そのたくさんの「絆」は憧れの舞台のスタートラインに立った私たちの背中を押してくれました。

私たちがここで得た、チームワーク、強靭な体力、精神力、知識、技術は必ず災害現場、人命救助に生きると確信しています。

最後に、この訓練に携わって頂いた全ての方々、無償の愛でサポートしてくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

陸上の部　第2中隊長
障害突破

港消防署
消防司令補
眞野　円志

「やりきった。」

ゴールラインを超えた瞬間、真っ先に浮かんだ言葉です。訓練を始めて、チーム力が高まった矢先の5月、チームの大黒柱の負傷で心が折れかけました。しかし、そこから、新たなメンバーと団結し、徹底的な話し合いと訓練を重ねて挑んだ近畿地区指導会。全国大会出場こそ叶いませんでしたが、障害突破人生を締めくくるにふさわしい、最高の夏となりました。

第2中隊長としても挑んだ今夏。総員63名。それぞれが勝利のために悩み、苦しみ、もがく姿は泥臭くも力強く、本当に誇り高いものでした。強靭な精神力を持つ隊員たちと共に闘えたことは私の誇りですし、訓練開始から隊員たちと励まし合い歩んだ時間は、何よりの宝物です。

この夏、全員が確かな成長を遂げたと感じています。そして、その成長は、必ずや大阪市消防局が今後さらに強くなるための礎となると確信しております。

水上の部　中隊長
人命救助

阿倍野消防署
消防司令補
堤　勇樹

第43回近畿地区指導会に初出場して以来、10回目の参加となった本指導会。振り返れば、酸いも甘いも多くの経験を経て、気づけば中隊長という立場になりました。

この訓練で学んだ大切なことは、まず、目的意識を明確に持つことです。言うまでもなく、本訓練の目的は人命救助。この崇高な任務を強く意識すればするほど、訓練内容はより濃く、厳しさを増します。速さや正確さを追い求め、課題解決へと試行錯誤を重ねていく中、時に大きな壁に直面することもあります。そんな時こそ人命救助という原点に立ち帰ることで、見せかけの速さや形だけの正確さではない、血の通った訓練へと昇華していきました。

次に、大阪救助の覚悟とプライドを胸に、訓練に挑む姿勢です。勝負に勝つこと、それが我々に課せられた使命です。大阪救助の代表であるという自覚は、逆境での踏ん張りになります。

そして、これらの積み重ねが、日々の現場活動への礎となり、自らを磨き続ける原動力となりました。

最後に、私を救助隊員として成長させてくれた水上の部の皆さまに深く感謝します。また、所属の方々、警防課の皆さま、そして何より10年以上支えてくれた妻に、心から感謝を捧げます。

ロープブリッジ渡過

昨年、全国大会で1位を取った大先輩の背中を追い掛けて臨んだ、第53回近畿地区指導会。初出場の3人を含め、今年度の全国大会出場は厳しいのではないか、と周囲から厳しいお言葉を掛けられながら、日々の訓練を行ってきました。

訓練期間中は、大阪市消防局の名前を背負う重圧も相まってタイムが伸びない時期が何度もありました。それでも、指導員の熱烈な指導を受けて、仲間と切磋琢磨し、ロープブリッジ渡過の全国大会出場の切符を手にしました。携わっていただいた全ての皆様の協力なしにはこの舞台に立つことはできなかったと思います。

この夏の経験は、今後の消防人生においても大きな財産であり、宝です。心より感謝申し上げます。

〈西淀川消防署　消防士長　石塚　智〉

引揚救助

出走直前、静まり返り緊張感漂う塔上でチーム紹介を待つ間、緊張はありましたが不安はありませんでした。それは、仲間を信じ、自分を信じ、出来る限りのことを行い、集中して本番に挑めたからです。3カ月という短い期間、初出場の隊員を含むチームで、強豪相手と同じ土俵に立つため、質、粘り強さ、そしてオープンマインドを意識し訓練しました。徐々に歯車が合ってくる感覚を楽しみながら、本番を迎えることができ、悔いのない大会となりました。　大会を終えて、何かを成し遂げるには自分の力だけでなく、周りにいる人のサポートやフォローが不可欠だと改めて感じました。大会に関わった全ての人、支えてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

〈住吉消防署　消防司令補　内海　成太郎〉

はしご登はん

私が近畿地区指導会に初めて出場した12年前から数えて、今大会は6度目の挑戦でした。結果は自分の目標としていた所には届きませんでしたが、最高の訓練をすることができ、悔いはありません。それも全ては、家族や事務局、指導員、所属の方々、運営や要員の方からの支援や応援、また直接的にも見えないところでも尽力してくれた全ての人が作ってくれた、最高の環境のおかげだと感じています。最後に、共に訓練期間を過ごした隊員たち、ライバルでありながらも切磋琢磨しお互いを高めあうことができた、はしご登はんの仲間たち、関わってくれた全ての方に感謝とリスペクトを込めて。本当にありがとうございまし

〈西成消防署　消防士長　小間　達哉〉

ほふく救出

この数カ月間は、チームリーダーとして、チームをまとめることの難しさを実感した期間でした。チームのバランスは良くても、思うようにタイムが伸びず、雰囲気が悪くなる場面が幾度とありました。しかし、そんな状況でも下を向かず、前を見続けることができたのは、指導員をはじめ、周囲の方々の支えのおかげですし、そのすべてが、悩み、苦しみながらも、チーム全員が本気で駆け抜けた道のりだと感じています。結果を残すことは出来ませんでしたが、中隊長の「災害現場であと1歩を踏み出す力」という言葉のように、この経験は、まさにその力へと繋がっていると信じています。ご支援、ご指導いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

〈東成消防署　消防司令補　新山　雅浩〉

ロープブリッジ救出

今回の近畿地区指導会は、ライバルたちの高い技術と情熱に触れ、自分もさらに成長していきたいという強い思いを抱くことができ、大変貴重な経験となりました。

この場に立つことができたのは、共に切磋琢磨してきた仲間や同僚、そして日々の訓練を見守り応援してくださった方々の存在があってこそだと思っています。改めて感謝の気持ちを伝えたいです。私たちの訓練に携わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからも初心を忘れず、技術と心を磨き続けていきます。

〈住吉消防署　消防司令補　森田　祥平〉

ロープ応用登はん

このたびロープ応用登はんの登はん者として出場しました。結果は全国に届かず悔しさも残りましたが、この舞台に立てたことは大きな経験となりました。日々支えてくれた所属の職員の皆さま、強化隊員、指導員、応援・ご支援くださった全ての方々、そして大阪市消防局全体のご協力に心から感謝申し上げます。

年齢に関係なく、挑戦する気持ちと「諦めない心」があれば、まだまだ前に進めると実感しました。また来年、さらに成長した姿で挑戦したいと思います。本当にありがとうございました。

〈天王寺消防署　消防士長　田中　康博〉

障害突破

「大阪」の誇りを胸に全国大会出場という目標を掲げ、本番一発、5つの障害に立ち向かい、最高の形でゴールラインを突破するために、チーム一丸となって全力で近畿地区指導会へ挑みました。

約3カ月の訓練期間をチーム全員が同じ目標に向かい熱い気持ちを持って指導員の方々のサポートを受けながら全力で駆け抜けました。チームメイトはもちろん、そんな最高の仲間たちと過ごした、この強化訓練での経験は私にとって最高の宝物です。

この指導会に携わっていただいた方々や、所属の方々、また家族のサポートがあったからこそ、指導会本番という最高の舞台に立つことができました。心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

〈東淀川消防署　消防司令補　武田　耕作〉

複合検索

昨年出場した近畿地区指導会では３位となり、悔いの残る結果となりました。その結果から、今年こそは全国の舞台に立つ、と決心し訓練を見直しました。そこからは、本番の1発勝負でベストパフォーマンスを出すことを念頭に置いて、日々訓練に励みました。タイムが伸び悩む時期もありましたが、隊員同士で改善点を共有し、励まし合うことで前向きに訓練に取り組むことができました。こうした取組により、本番ではベストタイムを出すことができました。

この経験を大切にしながら、これからの消防人生を歩んでいきたいと思います。

〈 中央消防署　消防士長　菱川　翔太 〉

基本泳法

第53回近畿地区指導会において、「基本泳法」の種目から全国大会へ出場できることになりました。この種目は、他の種目とは違い個人種目の為、モチベーションの維持が難しい期間もありました。しかし、明確な目標を立てること、水上の部のチーム全体で切磋琢磨してきたことが全国大会出場という今回の結果に繋がったと思います。「基本泳法」という種目は今年を最後に廃止されることとなりましたが、大阪市代表として最高の成績を目標に、残りの訓練に取り組んでいきます。全国大会ではチームや所属全員の気持ちを胸に日本一を目指して頑張ります。最後に家族、友人、所属の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

〈 東住吉消防署　消防士長　髙瀬　渉 〉

溺者搬送

今回、私は水上の部の溺者搬送で、初めて近畿地区指導会に出場しました。

水球の経験があるため、今回の訓練へ立候補しましたが、実際の訓練では自身の力不足を痛感し、悩む日々が続きました。しかし、多数の訓練隊員が励ましの声をかけてくださり、おかげで過酷な訓練を乗り切ることができました。

初めての経験でしたが、この訓練を通して、現場に通ずる強靭な体力をつけることができただけでなく、仲間の心強さを再認識することができました。

この訓練で得られた貴重な経験を活かし、立派な消防人になれるよう、尽力します。

〈 東住吉消防署　消防士長　神志那　和樹 〉

水中結索

第53回消防救助技術近畿地区指導会への出場にあたり、沢山の方々に支援いただきました。ありがとうございました。私は水中結索という3人1組で行う種目に出場しました。本番に向けた、4月下旬からの本格的な訓練の日々は、いま振り返るととても充実した期間でした。初めは上手くいかないことがほとんどで、不安に駆られる日が多くありました。しかし、救助技術の向上を目的に共に訓練に励んだ隊員達、最後まで信じてくれたチームメイトのおかげで、本番では培った技術を最大限に発揮することができました。

この訓練で培った沢山のことを、日々の消防業務、災害現場活動で最大限に発揮し、市民の期待に応えるべく全力を尽くしたいと思います。

〈 淀川消防署　消防士長　長船　勇雅 〉

溺者救助

暑く、熱い夏を過ごしました。まず、無事に訓練をやりきることができたのは、関わって下さった皆様が私たちを支え、背中を押して下さったからです。ありがとうございました。そのような支援をいただき、日々訓練を積み重ねたことにより、私は全強化隊員が心身共に成長できたと実感しています。この訓練はそういう場であり、引っ張ってくれる先輩、経験者、信頼できる指導者の方々が必ず居る場なのです。訓練の方法、考え方、勝ち方、仲間の大切さ、実際の災害現場に通ずること等、多くを指導していただきました。この場でないと経験できないことであり、その経験から成長できる場だと思います。若手職員の方々には、ぜひ経験してほしいです。

〈 東住吉消防署　消防士長　勝丸　大地 〉

人命救助

「勝ちたい」という熱い気持ちを持つ仲間たちとの約３カ月間の訓練を終えました。一つの目標に向かい喜怒哀楽を共にすることは、社会人になると、あまり経験できない、この仕事ならではの貴重な経験だと思います。仲間たちと目標にしてきた全国大会への切符を掴み取ることはできませんでしたが、このような経験ができる環境を提供して頂いているということは本当に幸せなことです。消防人として確実に成長をさせて頂いていることはありがたく、今後の消防人生において大きな財産になると確信しています。最後になりますが、この訓練に関わって頂いた多くの皆様、本当にありがとうございました。

〈 天王寺消防署　消防司令補　鍋田　優介 〉

水中検索救助

近畿地区指導会の水中検索救助に出場することは、自分にとって大きな挑戦であり、かけがえのない経験となりました。そして、指導会当日までの厳しい訓練や困難を共に乗り越え、互いに高め合いながら挑んだ仲間たちの存在も何よりも心強いものでした。指導会当日は、多くの方々の支えがあってこそ、全力を尽くすことができたと実感しています。この機会を与えてくださった職場の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。また、日々支えてくれた家族の存在は、ありがたく、大きな励みになりました。この経験と感謝の気持ちを忘れず、今後も技術と精神を磨き、さらに高みを目指して精進してまいります。

〈 天王寺消防署　消防士長　難波　拓人 〉

いっしょに、いこな！　＼2025年 大阪・関西万博／
～ 万博会場は私たちが守ります！～

皆さんこんにちは！

朝夕は過ごしやすくなりましたが、日中はまだ汗ばむ暑さですね。お変わりなくお過ごしでしょうか。

今月号では、大阪・関西万博消防センター（以下、「万博消防センター」という。）での取組の一つである「会場内訓練」についてご紹介します。

万博消防センターでは、万博開催期間中に複数回に渡り、様々な訓練を実施しました。

「会場内訓練」とは、来場者の方々に安心して大阪・関西万博を楽しんでもらうため、万博会場内で発生する可能性のある、あらゆる災害に対し万全を期し、開場時間外にパビリオンや大屋根リングなどで行う訓練のことです。博覧会協会職員やパビリオンスタッフの方々に協力していただき、実現することができました！

会場内訓練

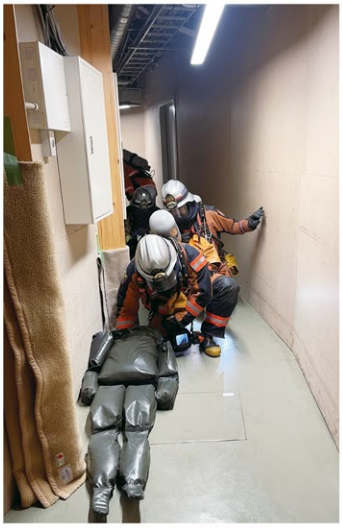
パビリオン火災想定訓練

実際のパビリオンを使用した火災想定訓練では、消火隊と救助隊が連携した、パビリオンでの主火力制圧と要救助者救出や、各パビリオンスタッフの災害時の初動対応を警備員とともに確認するなど、建物ごとの特性に応じた対応を学ぶことができました。

この訓練にご協力いただいた、ドイツパビリオン、ブルガリアパビリオン、チェコパビリオンでは、パビリオンスタッフによる初期消火訓練、避難訓練や通報訓練も行いました。協力いただいたパビリオンでは、すべての外国人スタッフが日本語を話せるわけではないことから、情報収集やコミュニケーションをとることは容易ではありませんでしたが、実災害に即した訓練を行うことができました。

また、パビリオン内の来場者導線を案内していただき、避難経路や避難口の位置を事前に確認できたことで、重点検索ポイントや、ホース延長経路を隊内で共有することができ、各パビリオンごとに活動方針を決めることができました。

複雑に区画されたパビリオンは、市内の住宅等の一般的な建物とは違うため、今回のホース延長訓練や検索訓練は、隊員の技術向上に繋がりました。

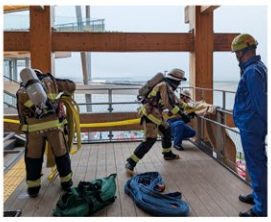


いっしょに、いこな！　＼2025年 大阪・関西万博／
～ 万博会場は私たちが守ります！ ～

大屋根リング訓練

大屋根リング訓練では、ホースの延長訓練や高所作業車の架梯訓練を行いました。

大屋根リングには8つの階段と5つのエスカレーター、6つのエレベーターがあり、大屋根リング上はスロープにより上下が分かれています。災害点によりどこから上るのかを短時間で正確に選定できるよう、意識しながら訓練を行いました。



NBC災害対応訓練

万博会場内と市内災害とで、活動が大きく変わるのがNBC災害です。

特別警戒時は17隊が万博消防センターに移動配備をしています。市内に残っている隊の到着は15分から20分程度かかってしまうため、初動時の消防力が劣勢になります。

NBC災害対応訓練では、パビリオン内で毒劇物等が撒かれたという想定訓練を行い、検知、サンプリング、要救助者搬送等を行いました。

消防力が劣勢の中でも対応できるように訓練を重ねることで一人一人が活動を理解することができました。

水難救助訓練

水難救助訓練は、「つながりの海」で行いました。

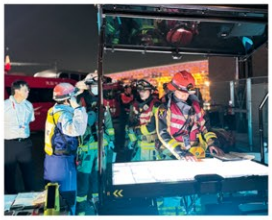
「つながりの海」は万博会場の南側に位置しており、水深は1番深いところで3mあります。海中には水質改善用の水中ミキサーや電気配線などの危険箇所が多くあり、細心の注意を払い、訓練を行いました。

出場からボート組立までを迅速かつ安全に実施し、航行時は危険箇所に巻き込まれないよう注意したことで、水難事案発生時の初動確認と、ボートの操船技術を向上させることができました。

集団災害訓練

大阪・関西万博の来場者は連日10万人を超えており、20万人を超える日も出てきているため、すべての災害が集団災害になりうる可能性があります。夏場は熱中症による集団災害も考えられるため、大阪ヘルスケアパビリオンと力タールパビリオンでは、多数の傷病者がいる想定で集団救急・集団救助の訓練を行いました。

訓練では、スタッフに負傷者役をお願いし、実災害に即した形式をとれたことで、指揮能力や各隊の連携力が向上しました。



おわりに

会場内訓練では博覧会協会職員やパビリオンスタッフの方々の協力により様々な訓練を行うことができました。外国人スタッフの方にも協力いただき、海を越え、国境を越えて人と人とのつながりを感じることができました。

大阪・関西万博は、10月13日をもって閉幕いたしますが、今回の訓練で培ったことや得られたことを所属に持ち帰り、今後の消防活動に還元することまでを視野に入れ、万博消防センター職員一同、この「会場内訓練」に取り組ませていただきました。

残りの期間も、来場者の皆さまに安全安心な万博を楽しんでいただくため、訓練での経験を活かし、いざという時に前線で活躍できるよう、閉幕まで駆け抜け、守り切ります!!

来月は、大阪・関西万博の準備期間から閉幕までの万博消防センターの活動を振り返ります。

広げようスキルアップの輪

共に学び 共に成長

予防部規制課
消防司令補　辻本 健太

皆さん、内外部を問わず様々な研修を受講されるかと思いますが、研修で得た知識を自分だけのものにしているのがもったいないと感じたことはありませんか？
このコーナーは、研修受講者が研修の良かった点や他の人に伝えたいと感じたことを紹介し、皆さんと共有するコーナーです。共に学び共に成長しましょう！

第４回　専科教育「危険物科（第19期）」（総務省消防庁消防大学校）

はじめに

令和６年８月29日から同年10月１日まで、総務省消防庁消防大学校において、専科教育「危険物科（第19期）」を受講しました。

消防大学校は東京都調布市にあり、消防事務に携わる職員等の消防関係者に対し、幹部としての教育訓練を行う国の機関です。今回、私が受講した危険物科では、「危険物保安に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる」ことを目的として、様々な教育訓練が実施されています。

消防大学校での生活

危険物科第19期生は、北は北海道から南は鹿児島まで、全国各地から集まった計30人からなります。６名ずつ５班に分かれ、敷地内にある寮及び食堂にて、約１カ月間、寝食を共にして学びました。

研修は土日祝を除く９時からですが、毎朝６時45分から通常点呼があるため、遅くても６時30分には起床し準備完了していました。通常点呼後に朝食をとり、身支度を整えて午前の研修を受講。昼食後に研修を再開し、研修が終わる16時50分以降は自主活動の時間という生活サイクルでした。

６人１部屋の寮には、施錠可能な個別の寝室だけでなく共用の談話スペースがあり、そこでの時間の過ごし方には、班毎のカラーがありました。

私が所属した班の場合は、夕食が終わると早速、寮室にて各学生の地元の食べ物や飲み物で交流を深め、良い頃合いになると法令集や貸与されたパソコンを開き、深夜まで危険物規制について何時間も議論するという、危険物保安漬けの毎日を過ごしました。知識の共有もさることながら、全国に同じ志、同じ悩みを持ちながら必死で頑張っている仲間がいることを知り、熱い気持ちが込み上げてきたことが、今も思い起こされます。

危険物科第19期生

入校時の最年長 45 歳、最年少 29 歳の同期生 30 人。
仕事での疑問を気軽に相談できる、最高の仲間です！

印象に残った講義

ここでは、消防大学校で学んだ研修のうち、特に印象に残っている二つの講義をご紹介します。

■金属腐食及び防食

この講義では、電解質や水分を含んだ土壌中で異種の金属が接続された場合、イオン化傾向が大きい方の金属だけが強く腐食していくことや、土壌とコンクリートの双方に接触させた金属配管では、アルカリ性であるコンクリートが電流を生じさせることから、土壌に接触している側が強く腐食していくこと等を、実験を通して学びました。

危険物担当の経験がある方には馴染みがあると思いますが、「電気防食」とは、腐食させたくない金属製タンクと、それよりもイオン化傾向の大きな異種金属を敢えて電気的に接続することにより、腐食を防ぐ措置のことです。地下に埋設されたタンクや配管を腐食から守るため、「電気防食」は大阪市内でも多数施工されています。

危険物事故防止の観点のみならず、電流が生じるメカニズムを知ることができる、非常に意義のある講義でした。

金属腐食及び防食

土壌はほぼ中性、コンクリートはアルカリ性のため金属配管に電流が流れ、土壌側がイオン化し腐食します。

■ボイルオーバー異常燃焼現象

燃焼中の油に注水すると危険な異常燃焼（スロップオーバー）が発生することは、皆さん御存知かと思います。ボイルオーバーとは、危険物タンク火災の発生後、燃料層に生じた高温層が、雨水の浸入などにより溜まっていたタンク底部の水に触れ、その水が突然沸騰して爆発的な火災になる現象のことです。

消防大学校の充実した施設があってはじめて可能になった大掛かりな体験型講義であり、映像を見ただけでは理解できない、五感で学ぶ貴重な実体験となりました。

ボイルオーバー異常燃焼現象

着火直後はタンク内でのみ燃焼していましたが、しばらくして底部に溜まっていた水が沸騰すると、破裂音と共にタンク外に炎が激しく飛び散りました。

おわりに

危険物科は消防大学校の学科の中では比較的短期なものですが、それでも1カ月以上、職場や家庭に穴を空けることとなりました。

上司や同僚の皆様、そして家族に大きな負担をかけながらも入校し、学ばせてさせていただいた消防大学校。そこで得られた有意義な経験・知見・人脈を、大阪市消防局の一員として市民や事業所、職員と共有し、危険物施設の事故や災害現場での職員負傷の防止などに繋げ、大阪市の安全・安心に貢献できるよう、努めていきたいと思います。

ケイボウタイムズ

～警防課の「いま」を伝える～

第18回　航空隊新庁舎（第１期工事）完成 !!

警防課（航空隊）

災害現場での活動を支える「警防部 警防課」。
「ケイボウタイムズ」では、毎号、警防課の各担当による「この時期だから伝えたい」旬なネタを掲載するほか、警防課が取り組む施策や事業についてお伝えします。

はじめに

大阪市消防局航空隊（以下、航空隊）の基地（以下、航空隊庁舎）は、大阪府八尾市にある八尾空港内に位置し、３６５日の日勤体制のもと、夜間及び早朝の緊急運航等は、招集体制により業務にあたっています。昭和59年の運航開始時は８名体制でしたが、現在は16名体制となっています。

航空隊庁舎の老朽化及び狭隘化を受け、令和５年から建替整備が進められ、その第1期工事（事務所棟）が令和7年7月に完了し、新庁舎での業務が開始されました。８月からは、第2期工事（格納庫棟）が始まり、令和8年度末に完了予定です。

ここでは、航空隊が担ってきた活動及び新庁舎の整備事業の概要をご紹介します。

航空隊の実績

航空隊の任務は、大阪市のみならず、大阪府一円の消防活動、山岳・水難救助事案、火災現場の情報収集や避難誘導、火災予防の啓発広報など多岐にわたります。２機の中型ヘリコプターを保有し、その機動力を生かして大規模災害（緊急消防援助隊等）にも出動しています。国際緊急援助隊としては、サイクロン災害（平成３年）におけるバングラデシュ派遣、スマトラ沖地震（平成16年）の津波による被害を受けたタイ派遣があります。

主な国内外派遣実績

海外	平成３年５月サイクロン災害（バングラデシュ）
	平成16年12月スマトラ沖地震（タイ）
国内	平成23年３月東日本大震災
	平成28年４月熊本地震
	平成29年７月九州豪雨
	平成30年７月西日本豪雨
	令和 ６年1月奥能登地震
	令和 ６年9月奥能登豪雨
	令和 7年3月今治市林野火災

庁舎整備事業の概要
―災害対策の中枢機能として―

大阪府緊急消防援助隊受援計画では、府内で地震等の大規模災害が発生し緊急消防援助隊の受援を行う際、八尾空港が航空部隊の活動拠点（ヘリベース）となり、航空指揮本部が設置され、応援航空隊の活動指揮等を行う計画となっています。

新庁舎は、一次受援時に最大10隊（7県3市約80名）の受け入れが可能です。大規模災害時において重要防災拠点となる航空隊庁舎は、人命救助・消火等への即時対応及び中枢としての機能を要求される施設です。航空隊庁舎の建替整備では、老朽化及び狭隘化の解消に加えて、耐震性能の確保、防災機能の向上に配慮した庁舎整備が進められました。

旧庁舎では、緊急消防援助隊の応援を受入れるための十分な設備を確保できなかったため、新たな庁舎・格納庫を新設するにあたり、適切な施設規模及び機能確保を図るため、敷地を北東部に拡張しました。また、建替え工事期間中もヘリコプターによる航空消防活動の機能を損なうことがないよう、旧庁舎横の民間格納庫を

一時的に借用し、出動体制を維持しています。

■環境に配慮した設備

新庁舎には、環境配慮の観点から、自然彩光、自然換気に配慮した窓、人感センサー照明、LEDライトの全館採用、節水型衛生器具等が設置されました。旧庁舎から太陽光発電装置を移設することで自然エネルギーを利用するなど、環境負荷の低減にも配慮しています。

庁舎整備事業の概要

- 大阪府受援計画における活動拠点（ヘリベース）としての緊急消防援助隊活動スペースの確保
- 航空消防の運航管理上必要な諸室の整備（出動準備室、ブリーフィングルーム他）
- 執務環境改善に伴う諸室整備（大型研修室、食堂、浴室等）
- ヘリコプター格納庫の拡張
- 72時間連続運転可能な自家発電設備（旧庁舎より移設）
- 省エネ設備等による環境負荷の低減

出動準備室

ブリーフィングルーム

消防情報システム・運航管理システム

太陽光発電装置

庁舎管理システム

事務室

最新の設備機能

おわりに

今回の建替整備で、大規模災害時の受援体制の充実を図り、新庁舎で新たなスタートを切った大阪市消防局航空隊。

これからも災害活動への対応を強化しながら、**「大阪を空から守ります!!」**

航空隊紹介の動画はこちら

左：航空隊新庁舎　　右：旧庁舎（新格納庫建設予定）

イクキュー

子どもの出生数が年々減少している昨今、子育て世代が安心して子どもを持てる環境づくりが課題となっています。令和7年4月以降、28日間までの育児休業であれば、手取りの10割程度が給付金として支給されるようになりました。

本コーナーでは、これから子どもが産まれる予定のある職員が育児休業の取得を考えるきっかけとなるよう、実際に育児休業を取得した職員の声を紹介します。

今回お話いただくのは…

浪速消防署救助隊の山内と申します。我が家は、妻（専業主婦）、長男（海知9歳）、次男（陸太郎7歳）、三男（天誠1歳）の5人家族です。

「人生で1番大事なことは、思い出作り」をモットーに、家族5人で毎日楽しく過ごしています。

今回の育児休業を通じて、さらに深くなった我が家の絆と、たくさんの笑顔あふれる時間について、お伝えします。

育児休業取得を決めた理由は？

私は三男が生まれた時に初めて育児休業を取得しました。長男、次男の時は取得していません。上2人の育児は、消防に入ったばかりということもあり、仕事や訓練に追われる日々の中で自分自身にも余裕がなく、あまり協力できていませんでした。

しかし、三男の誕生をきっかけに「今しかないこの時期を一緒に過ごしたい」「父親としてももっと深く育児に関わりたい」と強く感じるようになりました。また、育児休業を取得することにより、三男だけではなく、長男・次男と過ごす時間も増えると考えました。

そして1番は、妻に「育児休業てあるんねんけどどうしよう？」と聞くと、「できれば取ってくれたら助かる」と言われたことで取得しようと決めました。

私自身、隔日勤務で育児休業を取得している職員の存在を聞いたことは無かったのですが、育休取得について理解を示してくれる上司、同僚に恵まれ、安心して決断することができました。

育児休業を取得してよかったことは？

育児休業中は、家族と過ごす時間が、育休取得以前に比べて格段に増えました。

毎朝、次男（たまに長男）と一緒に野球の朝練をするのが日課となり、親子の絆がより深まったと感じています。

また、平日でも家族全員でいろんな場所に出かけることができ、思い出がたくさん増えました。

妻からも「いてくれて本当に助かった」と感謝の言葉をもらい、夫婦の関係もより良くなりました。

そして何より、育児をしながらも自分のやりたいことに取り組む時間を少しずつ持てたことが、心のゆとりにつながりました。

ある１日のスケジュール（平日）

6:00	起床 朝ごはん準備
7:30	次男と野球朝練（たまに長男）
8:30	次男 幼稚園へ
9:00	食材の買い出し 夜ごはん作る
12:00	妻と三男とランチ
14:00	次男幼稚園お迎え 公園で遊ぶ（一緒に）
17:00	夜ごはん
20:00	子供就寝
21:00	フリータイム ・家事協力 ・三男ミルク係 ・運動や知識の研鑽 ・たまに飲みに行きました

育児休業を取得した期間は？

三男が生まれてからの1か月間（令和6年8月1日～ 8月31日）と6か月間（令和6年10月1日～ 3月31日）を取得しました。

この期間にした理由は、8月は長男・次男が夏休みのため妻一人で3人の育児を行うのは大変だと感じたからです。また、次男が幼稚園の年長で、10月からは運動会や発表会、卒園式など大切な行事が多い時期だったことも理由のひとつです。

中隊長の一言（花谷課長）

数十年前のことですが、私も子育てに関与しました。当時を振り返ると、妻に任せきりで、自分の都合の良い時だけ子どもの相手をしていたと思います。

男性が育児に参加することには賛成でしたが、その間の配置などについては不安がありました。

しかし、周囲から批判の声はなく、私の不安は杞憂だったと今では反省しています。

半年間の育児休業を経て職場に戻ってきた彼を迎えたのは、仲間たちの笑顔でした。

隔日勤務ならではの育休取得にかかる話

私は当時、救助隊の副隊長を務めており、育児休業を取得するにあたって最も悩んだのは、「自分の代わりに誰が乗ってくれるのか」という点でした。

隔日勤務では、一人が休むだけでも隊の運用に大きな影響がでます。さらに、救助隊は専門性が高く、即戦力として現場に対応できる職員が限られているため、代替要員の確保は非常に難しいのが現実です。

その中で、消火隊に所属する先輩が「その期間だけなら乗ったるわ」と手を挙げてくれたことは、本当に心強く、ありがたいことでした。通常の業務に加えて救助隊としても活動するという、大きな負担を引き受けてくださった先輩の存在があったからこそ、私は安心して育休に入ることができました。

このことから、育休の取得には自分だけでなく、職場全体の理解と協力が不可欠だと強く実感しました。

だからこそ、私自身も今後は、誰かが育休を取得しようとしたときに、迷わず支えられる存在でありたいと思っています。

復帰前、記念に一枚（髪長くてスミマセン…）

3回目となりました「イクキュー」。今回は、隔日勤務であっても、周囲の方の理解と協力で育児休業を取得されたことで、家族との充実した時間を過ごし、絆を深めるとともに大事な「思い出作り」もできた、というお話を伺うことができました。

これから育児休業を取得される方、その同僚の方、皆さんが育児休業取得への理解を深め、助け合うことで取得率が向上していくといいですね。次回の「イクキュー」もお楽しみに！

明日に備えて 過去に学ぶ Vol. 7

今回のテーマは「熱傷」

（警防部司令課）

このコーナーでは、「安全文化の醸成と安全管理の徹底」を図ることを目的に、消火・救助・救急など過去の負傷事例を振り返り、事例からの学びについて紹介していきます。ここで紹介する内容が、皆さんの日々の活動に役立ち、プロフェッショナルとしての安全意識をさらに高める一助となることを願っています。

今回は、熱傷による職員負傷事故事例と当局の装備について紹介します。

過去の事例

直近隊隊員としてタンク水にて延焼阻止放水を実施中に熱気は感じていたが、その場で放水を継続したもの。なお、受傷時は負傷に気づかず、休憩時に右手手背部に痛みを感じ消防用手袋を外した際に、負傷に気づいたもの。

負傷状況

年度	年齢	受傷機転	症病名
元年度	20代	溶融した金属落下物の付着	右手第４指Ⅱ度熱傷
元年度	20代	屋内進入中に受傷	両手背部Ⅱ度熱傷
3年度	30代	屋内進入中に受傷	右手背部Ⅱ度熱傷
4年度	30代	高温の液体の付着	両手第１指及び第２指Ⅱ度熱傷
4年度	20代	火災による輻射熱の疑い	右手手背部第２～４指Ⅱ度熱傷
5年度	30代	溶融した電線被覆の付着	顔面熱傷
5年度	30代	高温の落下物の付着	右手甲部Ⅲ度熱傷疑い
6年度	20代	高温の落下物の付着	後頸部のⅢ度熱傷
6年度	20代	高温の煙の吸入	気道熱傷の疑い
6年度	20代	火災による輻射熱の疑い	左肩深部Ⅱ度熱傷

過去からの学び

当局の装備について

▶ 消防用手袋

当局は、「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に基づき、防火手袋に求められる性能等を考慮し、熱水による火傷防止の他、感染防止のため防水層を設けた仕様を導入しています。

▶ 防火衣

当局に導入している防火衣はISOが策定した、ISO 11999シリーズ（建物内部で発生した火災の高いレベルの熱と炎に曝される危険のある消火活動用個人装備の試験方法と要求事項）を基準とし、防火衣の安全性能を満たしています。

防火衣は、正しい着装で本来の熱防護性能を発揮するため、肌着の上への直接の着装やインナーを取り外しての着装は、断熱効果を下げ、熱傷のリスクを高めます。

熱傷の防止のためには、露出部がないよう消防用手袋、防火衣を正しく着装し、なるべく重ね、空気の層を確保することが重要。

危険回避の知識の備え

火災現場の温度は最盛期には1,100～1,200℃にも達することがあります。アルミは約660℃で溶融するため、溶けたアルミが滴り落下することがあります。

種類	溶融温度
鉄	約1,500℃
ガラス	1,200 ～ 1,400℃前後
アルミ	約660℃

さいごに

熱傷の防止には、消防用手袋、防火衣の確実な着装が重要です。
上記の過去の事例などをもとに、熱傷防止について小隊や中隊等で話し合ってみてはいかがでしょうか。

当局の重点目標に掲げる『安全文化の醸成と安全管理の徹底』のとおり、職員一人ひとりが「絶対に一人の職員も負傷させない」という強い意識のもと取り組んでいきましょう。

No more！事故
～撲滅への道～

119番通報を受けた際、安全かつ迅速に出場することで、いちはやく災害現場へ駆けつける消防車両。

消防車両は、安全に現場へ到着してこそ、最大限の活動が実施できます。

このコーナーでは、各署で実施している交通事故防止への様々な取組や対策を紹介していきます。

今月は、港消防署の取組について紹介します。

港消防署田中出張所のメンバー

港区の通行ポイント

港区は大阪市西部に位置し、面積7.86㎢で北東から南西に細長い形をしています。

東西にみなと通、中央大通、阪神高速16号大阪港線、南北に国道43号線、阪神高速17号西大阪線が通り、海岸部には阪神高速4、5号湾岸線と此花区夢洲への経路となる夢咲トンネルに接続する大阪港咲洲トンネルがあり、市内西部の交通の要所となっています。

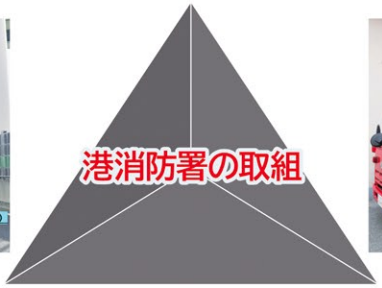
大阪・関西万博の開催により乗用車だけでなく大型トラックの往来も多く、国道43号線の高架下では頻繁に渋滞が発生します。また、片側2車線や3車線の幹線道路が多いため、消防車両を運行する際には、周りの車両の動向に細心の注意を払い、機関員は次のハンドル操作を乗組員全員に共有し、乗組員は周囲の状況を適時確認しコメンタリードライブを実施するように心がけています。

この車、動かす時、気を付けて

港区は西区、此花区、大正区、住之江区と隣接しており、他区での災害にも多く出場します。西区を除く隣接管内へ出場する際に使用する阪神高速や国道43号線は乗り口、降り口に注意が必要です。出場する際には、小隊乗組員が一体となり災害点への乗り口及び降り口を確認し、確実に災害現場に到着出来るように努めています。

また、港消防署には、遠距離大量送水システム(Dragon Boost unit)を搬送するためのDB車が配置されています。DB車は、猛暑における火災現場で活躍するパネル水槽やエアーテントまた水難現場で使用する救命ボート等多種多様な資器材を搬送することを任務としています。2名乗車のはしご車との乗り換え運用のため、小隊長と機関員との意思疎通が重要となり、車両の死角や積載物の固定、左右バランスに気を付けてコメンタリードライブを徹底しています。

港消防署作成 共有資料



DB車外観と積載部分(内部)

交通事故防止への取組

直径8mの円の「たこつぼ」

港消防署では、静止物件事故防止のための運転技術の向上と、機関員と各誘導員間の安全確実で連携の取れた誘導を目的とした取組として、署庭にカラーコーンとセーフティーバーで直径8mの円の「たこつぼ」を作成し、狭隘な場所での車両感覚を習得する訓練を行っています。

また、隣接区等に出場する際は、主要幹線道路の乗り口等を説明したパワーポイントと実際に走行した動画を共有し、安全確実な災害現場到着に役立てています。小隊乗組員全員が共通の認識を持つことが、災害出場時の確実な走行経路選定や消防車両の安全運行に繋がっています。

港消防署の交通事故防止を担当する田中出張所には、常備車STの他に予備車3台(ST、R、A各1台)が配置されているため車両の搬出搬入機会が多く、各機関員は各車両の車両諸元や特性を確実に把握するよう努めています。

安全確実な連携の取れた誘導

無事故チャレンジ達成日数(令和7年8月末時点)

北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速
26	87	43	24	18	859	594	255	940	40
西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江
139	20	43	128	14	198	41	362	136	67
住吉	東住吉	平野	西成	水上					
315	245	6	219	590					

企画課服務指導からのコメント

～増加する交通量を見据えた安全対策～

港消防署の取組は、大阪・関西万博開催による交通量・大型車両増加という地域特性も踏まえ、非常に効果的に実践されています。特に機関員がハンドル操作などの車両動向を都度乗組員全員に共有することは、他の乗組員による周囲の安全確認をより確実なものとし、現場到着までの事故防止に大きく寄与しています。また、DB車による他区への出場時、高速道路の出入り口の確認や、資料・動画による道路情報の共有が、安全な緊急出場を支えています。今後もこうした安全確保への取組を継続されることを期待しています。

センター教育・研修を徹底解剖

Just Do It !

第16回　高度専門教育「指揮研修（第21期）」

高度専門教育訓練センター

船越 将人

今月の担当教官（船越）のひとこと

常に危険と隣り合わせの災害現場で、「いま何が危険なのか」「どんな危険が迫っているのか」を見抜き、指揮にあたる責任の重さを痛感した研修でした。

今月は高度専門教育の一つである指揮研修について取り上げます。

本研修は警防担当の消防司令長、または消防司令の階級に当たる職員（受託研修生については各級指揮者またはその代行者）を対象としており、指揮活動に必要な知識及び能力の向上により、各所属における円滑な指揮活動の遂行に資すること、及び指揮活動要領についての指導者となり、広く職員へフィードバックすることを目的としています。

今年の第21期は大阪市25署から各1名の計25名、大阪市を除く府内消防本部（局）等から20名の合計45名が受講されました。

高度専門教育 指揮研修（第21期）

【実施日時】
令和7年6月25日（水）～26日（木）
9時00分～17時30分

【研修内容】（　）内は講師の所属

- 指揮活動総論 安全管理　担当：藤岡 敦司（司令課統括方面隊長）
- 情報管理　担当：田中 信成（司令課担当係長（指令管制））
- 現場指揮Ⅰ 一般建物（司令課南方面隊）
- 現場指揮Ⅱ 高層建物（司令課東方面隊）
- 現場指揮Ⅲ その他の災害（司令課北方面隊）

ミニ講座「指揮活動総論」 ― 安全の要を学ぶ ―

■指揮者に必要な能力とは

当局では団塊の世代といわれる職員層の退職により、「現場経験の豊富な職員」から「経験値の少ない若い職員」が中核を担う組織への転換期を迎えています。

一方、社会の行動様式の変化や科学技術の発展により、消防が対応する災害の内容も日々変化し、指揮者の冷静かつ迅速な判断に基づく、臨機応変な指示命令がますます重要になっています。指揮活動は高レベルなスキルが求められる任務ですが、講義「指揮活動総論 安全管理」では、災害現場での指揮者の状況判断に必要な8則が紹介されました（表）。

指揮活動総論 安全管理

① 情報を重視せよ。ただし過信するな。
② 現示された状況を冷静に読め。変化の兆候を見逃すな。
③ 実体の推定は危険側に立て。根拠のない楽観論を排せ。
④ 一局面に固執するな。常に俯瞰的視野に立って全局面を観察せよ。
⑤ 現示状況に即応せよ。そのための指示命令の修正・変更をためらうな。
⑥ 安全を賭けるな。安全の範囲が消防活動の限界と思え。
⑦ 最善を望むな。ただし、最悪事態だけは防止せよ。
⑧ 状況を圧倒する消防力を集中せよ。現場は力の対決である

『現場指揮』冨樫 金三郎（元東京消防庁装備部長、元消防大学校客員教授）著より

これらの教訓は、指揮者はもちろんのこと、災害現場の最前線で活動する隊員一人ひとりが、胸に刻むべきものばかりです。

本講義では、講師から付与された情報を元に図上訓練が行われ、「指揮卓の記入」「各消防隊への必要な任務分担」をはじめ、増強隊の要否等についての検討が行われました。

受講生は、火災の延焼阻止や人命救助といった活動面の任務から、熱中症対策としての交代要員や、パネル水槽を準備するための増強隊の要請といった後方支援まで、あらゆる任務の必要性について多くの意見を交わしました。今後、災害現場で必要な任務を判断する際に、今回の図上訓練で出た意見を参考にしていただきたいと思います。

実災害では、増強隊を要請しても出場から現場到着までに一定の時間がかかります。災害情報から、消防力の不足が明らかとなった場合は、時機を失することなく必要となる消防隊の種別、隊数や任務を的確に判断し、迅速に増強を要請できるかが重要なポイントの1つになります。

講義では実際の火災現場映像の紹介もあり、図上訓練だけでは想像しにくい実災害現場ならではの緊迫感を味わい、いかに状況判断や指示命令に迅速性が必要であるかを感じることができました。

現場指揮Ⅰ 一般建物

■部隊指揮に欠かせない「指揮卓の情報」

すべての情報が集約される指揮卓の記入は、重要な任務の一つです。指揮班以外の活動隊として出場する際も、建物構造、燃焼状況や人的情報、自隊の活動内容など指揮者が必要とする情報を確実に指揮本部へ報告するとともに、各小隊長もそれらの情報を活用して、俯瞰的に災害現場をイメージすることで、安全、確実かつ迅速な部隊活動に繋がります。

研修で学んだことを全職員で共有してほしい

本研修は、特定の職員だけを対象とするものですが、研修内容は災害現場で部隊指揮に当たる職員だけでなく、各小隊長や隊員として活動する職員も知っておく必要があるものです。受講生には、受講後研修として所属職員に研修内容をフィードバックしていただき、全職員の知識向上に寄与していただきたいと思います。

現実の災害現場は、常に危険と隣り合わせです。

そこで活動する消防隊員の安全を守りつつ被害軽減を目指すためには、指揮者の的確かつ迅速な判断に基づく指揮が必要不可欠です。本研修が、受講生にとって「理想の指揮者像」に近づく一助となることを願っています。

事前計画を遵守した有効な筒先配備で早期に火災を鎮圧

東方面隊

■はじめに

今回紹介する火災は平家建住宅から出火。周囲は狭隘な路地に囲まれておりホース延長が困難な状況であった。しかし狭隘路地に留まることなく、火元建物の背面にある住宅内をホース延長するとともに、筒先配備のために火元建物の的確な箇所の破壊作業をしながら主火力制圧と延焼阻止を効果的に行ったことにより、早期に鎮圧した火災である。

火元建物の状況（北西から撮影）

■火災概要

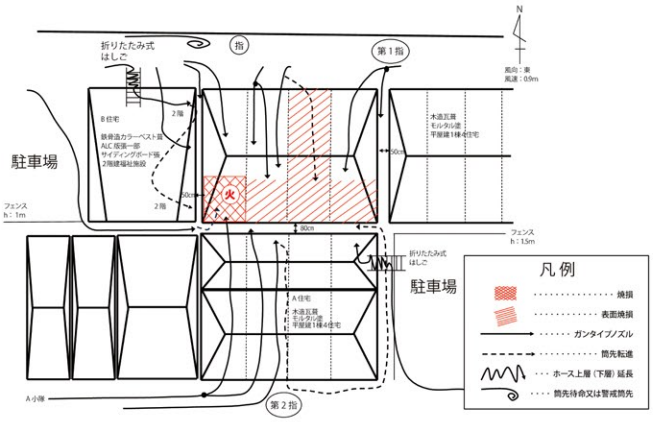
覚知日時	令和7年2月某日
	10時20分
第1出場	10時20分
包囲態勢完了時間	10時54分
鎮圧時間	11時29分
鎮火時間	14時20分
建物構造	木造瓦葺モルタル塗一部トタン張平家建1棟2住宅2空家（建／延120㎡）
焼損程度	10㎡焼損及び小屋裏59㎡焼損
負傷者等	なし

■活動内容

火災は特定密集地域で発生。火元建物は木造の平家建1棟2住宅2空家。西端住宅及び東端住宅のみ居住しており、中央の2室は空家であった。最先着した消火隊は軒先全体から濃煙が噴出しており、火元建物の西端住宅が20㎡程度燃焼中で北を除く3方向に延焼危険があったため、警防本部に即報している。特に火元建物の南面は、同様の平家建の長屋住宅（以下、「A住宅」という。）が密集していたが、指揮本部からは視認が難しく、状況把握に困難を伴った。

指揮本部は背面の第1指揮班からの情報をもとに、包囲態勢を整えるべく情報整理を実施。

警防本部から火元建物に高齢者等災害弱者の情報があり早期の確認を要したが、のちに外出中であることが判明。また、西側の隣接建物（以下「B住宅」という。）は福祉施設であったが、消火隊が早期に筒先配備し、2名を避難誘導。負傷者は発生していない。各隊は事前計画通りに水利部署を実施し、軒先から噴出する火元建物の濃煙に惑わされることなく、事前計画に基づいた筒先配備を実施。連携した延焼阻止と主火力の制圧により、焼損を火元建物10㎡及び小屋裏59㎡に抑えることができた。



■南側延焼危険建物の状況

本火災において特筆すべきは、南面の筒先配備状況である。南面の防ぎょを指定されたA小隊は、南側の消火栓に部署し現場へ向かうと、火元建物南面に80㎝の狭隘路地を挟み、平家建の長屋住宅が並んでいるのを確認。火炎の状況から出火箇所は火元建物の南側であると判断。進入経路を探すも周囲は狭隘で路地を通ってのホース延長は困難な状況であった。そこで小隊長は、延焼危険であるA住宅の西端の住宅内を火元建物に向かってホース延長する方針に転換。またA住宅の室内に滞在していた住人男性1名にも屋外へ避難するよう指示するとともに、延焼阻止のためさらに東隣の住宅にもホース延長し、1線2口の多口放水により火元建物南面へ迅速に放水した。火元建物南側の80㎝の路地はトタン塀で区切られていたが、トタン塀を破壊し屋内進入し、南面の延焼阻止及び火元建物の主火力の制圧を同時に遂行。南面の放水が遅れた場合、火元建物の北面からの放水のみでは、A住宅にも延焼が及ぶ可能性があり、早期にホース延長経路を確保し延焼阻止と主火力制圧を同時に実施したことで、火元建物の焼損を10㎡にとどめることができた。

火元建物（左）南側
トタン塀の状況（西から撮影）

火元建物南側トタン塀を
破壊した状況（南東から撮影）

■活動のポイント

①事前計画の遵守

本事案では、各隊が事前計画された活動方針に基づき、指定された方面に筒先部署し、早期に包囲態勢を完了している。

延焼危険は北を除く3方向、隣接建物との間隙はそれぞれ1ｍ未満。指揮本部が設置された火元建物北側は東西にわたって濃煙が噴出している状況であった。

煙の状況に惑わされ、北面からの筒先配備に偏ると南面の延焼阻止が遅れるばかりでなく、火勢をおしていくことで、より延焼が拡大する危険性があったが、全隊が事前計画を遵守したホース延長を遂行したことにより、早期に包囲態勢を整えた。

延焼危険が大きい方面から順に筒先配備をする際には、活動面での重複が生じたり、筒先がない方面が発生し、結果として延焼が拡大する恐れがあるため、これを防ぐ事前計画が不可欠である。計画に従って活動することで、指揮者は各小隊の筒先配備状況を予測でき、高次出場隊に劣勢な方面へ筒先配備を指示できる利点もある。

②状況把握と判断

南面の延焼阻止を実施したA小隊は、早期に延焼阻止の筒先配備の確立を目指し、狭隘路地でのホース延長に固執せず、隣接する建物内を通ってホース延長することを選択した。日常的に周囲の状況を多角的に捉え、あらゆる選択肢から最良の活動を決定できるように、状況を把握し的確な判断力を培うことが重要である。

③消火隊による破壊作業

火元建物との間にあるトタン塀をA小隊は破壊するために、とび口を使用し適切な箇所を破壊することにより効果的な放水を実施することができた。破壊を躊躇することで、延焼経路の燃焼状況を確認できなくなったり、小屋裏を突破されてしまう可能性がある。さらに放水が火元に届かない場合もあるため、資器材の使用方法を理解するとともに、必要な場面で臆することなく破壊できる技量を身につけることが求められる。

■まとめ

本火災では、各隊の事前任務の遵守と有効な筒先配備、消火隊による的確な箇所の破壊作業により焼損を最小限に留めることができた事案である。狭隘で入れない、破壊しないと進めないような難しい状況下では、目の前の状況にとらわれ、活動しやすい場所での活動を選択してしまうことがあるが、各隊が指定方面を遵守し、早期に包囲態勢を完了することで被害を最小限に抑えることができた、方面原則の重要性を再認識した現場活動であった。また、普段から多口放水や即時消火の意識を持ち、日ごろから訓練を重ねているからこそできた、小隊内で連携のとれた消火隊の示範となる活動であった。

連携が生み出す確かな救命力
令和7年度救急救命技術研修会

はじめに

大阪市消防局では、日々変化する救急現場に的確かつ迅速に対応するため、毎年「救急救命技術研修会（通称：＊ＥＬＳＴＥＣ）」を実施しています。

本研修会は、救急活動の知識・技術を実践形式で鍛え上げ、隊員一人ひとりの現場力を高めるとともに、救急隊と消火隊との連携力をさらに強化することを目的としています。

今年度は、令和7年7月1日・2日の2日間、大阪市消防局高度専門教育訓練センターで開催され、市内25消防署の救急隊と消火隊が参加し、日頃の訓練の成果を発表するとともに、医師と指導救命士による講評及び審査が行われました。

ここでは、真摯に訓練に取り組んだ隊員たちの様子をお伝えするとともに、優秀隊として評価を受けた2連携隊をご紹介します。

＊ＥＬＳＴＥＣ（エルステック）は、「Emergency Life Saving Technical Educational Competition」の略称です。

実践的な訓練想定

今回の訓練想定は、銭湯の浴槽内で溺水による心肺停止の傷病者が発生したというもの。傷病者が救出された脱衣所には、長椅子や丸椅子があったという設定で、より現場に即した対応が求められました。

先着の消火隊がまず現場に到着し、傷病者の安全確認、心肺停止の判断、ＡＥＤによる電気ショックの実施、平行して無線による情報共有までを迅速に展開しました。後着の救急隊は、消火隊と連携し、気管挿管や静脈路確保、アドレナリン投与といった一連の高度な処置を適切に実施し、「自動式心マッサージ器」を装着し、絶え間ない質の高いＣＰＲを継続しました。

こうした一連の活動の中で特に重視されたのは、「現場全体を通した判断力」「処置の確実性」そして「隊員同士の連携と情報伝達の正確さ」です。

本番を的にした訓練
―三位一体の評価と学び―

各隊の活動は、救急医療に精通する医師6名と指導救命士により厳正に評価されました。審査基準には、観察・判断・処置はもちろんのこと、清潔操作や接遇に至るまで多岐にわたる項目が設定され、実際の救急活動を想定した多角的な視点から評価が行われました。

また、訓練後には、活動映像を用いた参加隊自身による振り返りと、所属署での教育を目的とした活動検討も実施されました。単に点数を競うのではなく、訓練を通して得た「気づき」や「改善点」を次の現場につなげるという目的意識が、ＥＬＳＴＥＣならではの特色です。

先着消火隊による初期対応

自動式心マッサージ器を用いた搬出

消火隊と救急隊の連携活動

最優秀連携隊・優秀連携隊

ここでは、訓練の内容が高く評価された2連携隊についての講評をご紹介します。

最優秀連携隊　住之江消防署

救急隊

小隊長　荒巻　潤
機関員　川村　剛生
隊　員　三浦　達也

消火隊

小隊長　和田　祐樹
機関員　津村　圭祐
隊　員　池野　慧大
隊　員　溝渕　幹大

隊員一人ひとりが自らの役割を的確に把握し、無駄のない動きを徹底することで、統率の取れた活動を展開しました。救急隊による特定行為も確実かつ迅速に実施され、処置の優先順位においても優れた判断が見られました。傷病者が心拍再開に至るまで、初動から一貫して常に迅速な活動が行われたことが評価され、最優秀連携隊に輝きました。

記念トロフィーを受け取る
救急隊長　荒巻　潤

優秀連携隊　東成消防署

救急隊

小隊長　伊藤　広輝
機関員　永吉　稜
隊　員　井藤　源康

消火隊

小隊長　大西　幸美
機関員　竹定　和希
隊　員　飯田　海
隊　員　石氷　健人

消火隊と救急隊の連携が極めて良好で、現場全体で統一感のある活動が展開されました。隊員同士の声かけや情報共有も的確で、常に意思疎通の取れたチーム活動が印象的でした。また、傷病者に対する配慮や関係者への接遇面も丁寧に行われており、総合的な完成度の高さが評価され、優秀連携隊に輝きました。

住之江消防署の隊員の皆さん

おわりに

本研修会は、日頃の訓練の成果を発揮する場であると同時に、「現場で求められる救命力とは何か」を見つめ直す貴重な機会でもあります。現場は常に変化し予測不能な状況に満ちています。市民の命を守るために、私たちは何をすべきかを常に問い続けなければなりません。

この研修会を通じて、自分たちの活動を振り返り、次の現場でどう活かすかを考えるきっかけとしてほしいと考えています。処置の手順だけでなく、隊員同士の連携、観察の一言、関係者への声掛けの一つひとつにも重要な意味があります。この場で得られた学びと気づきが、所属全体に広がり、今後の救急活動のさらなる向上につながることを期待しています。

東成消防署の隊員の皆さん

実録!!調査鑑識

Vol.38 焼けの見方～実況見分～（木造2階建一般住宅編）

Osaka Fire Survey and Investigation

「調べて、広めて、市民を守る。」

田淵主任（たぶっちゃん）

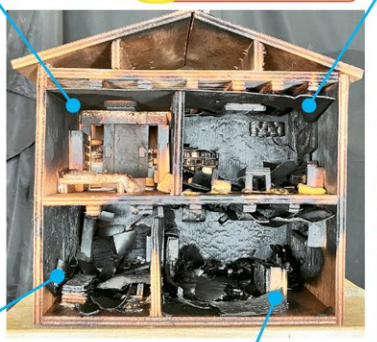
前号の続きをするでー！
正解動画は見てくれたかな？

小松主任（こまっちゃん）

出火箇所は1階和室の右奥だったね！
今回は出火箇所を絞るのにどのように焼けを見ていけば良いか勉強していこう！

各部屋の焼けはこんな感じだったね！出火箇所を見つけるために、まずは出火室を絞っていこう！

出火後



2階寝室

2階リビング

2階リビングの天井を見てみると、部屋の右奥の天井が焼失して焼けが強そうだね！この部分の焼けが強い理由は真下に階段があるからなんだ。

1階和室

1階キッチン

2階寝室を見ると、部屋の上部は焼けが見られるけど、棚やベッドの下部、床には焼けが見られないよね！
焼けてる部分も他の部屋と比較して**炭化亀裂痕**や変形・焼失してる箇所がないよね！
なので、焼けはそこまで強くないね！

木材は、**地色→変色→焦げ→炭化→剥離→焼失**の順に焼けが強くなるよ！

木材の焼けの例

焼失
↑
剥離
↑
炭化
↑
焦げ
↑
変色
↑
地色

次に2階リビングの焼けを見ていこう！

テレビ側の壁を見ると、炭化亀裂痕の状況から左側の焼けが強いのが分かるかな？
テレビも左側に傾いているね！テレビ等の物が燃えた時は、焼けが強い方に傾く性質があるから現場でもチェックしてね！

一見、2階リビングも焼けが強そうだけど、炎や可燃性ガスは下から上にいく性質があるから、2階出火だと1階はここまで焼けないよね！ということは、1階出火の可能性が高いかも。

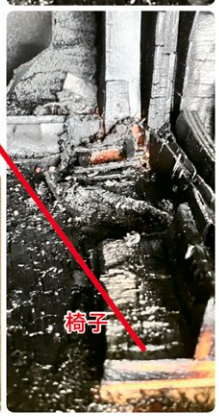
次に1階キッチンを見ていこう！

1階キッチンの階段は焼失しているね！
階段付近は焼けが強くなるから、惑わされないように注意しよう！

天井を見ると、右側より左側の方が部分的に焼け落ちてるね！つまり、左側の方が焼けが強く、出火箇所に近いことが分かるね！

1階和室の天井は全て焼け落ちている！
つまり、キッチンより和室の方が出火室の可能性が高い！

1階和室



椅子を見ると手前が地色、奥は炭化。つまり奥が強く焼けているよね！
ちょうど奥側に銅粒が落ちていたよね？
銅粒は電気配線の銅が溶けた物で、融点は1084.5℃と高い温度(電気的要因若しくは火災熱)だと分かるね！他の2箇所にも電気配線はあったけど、電気痕や銅粒は出てこなかったんだ！電気痕や銅粒があるということは出火箇所に近いという目印になるんだ！ブレーカーが作動すると他の電気配線には電気が流れないからね！

奥の布団が焼失してないのが分かるかな？布団等燃えやすそうなものでも押入れの中等で積み重なると、表面のみ燃えて残ったりするんだ！

今回の出火室は1階和室、出火原因は、ごみ箱に捨てられたたばこでした！
ごみ箱があった場所は、ちょうど銅粒が出来たすぐ傍だね！
焼けの見方は分かったかな？先月号に載せた正解動画をもう一度貼っておくので、見逃した人は、ぜひ見てくださいね！

正解動画

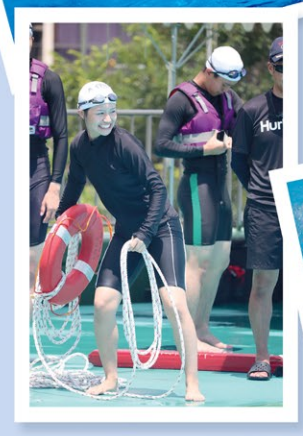
水難救助訓練

7月

ウィ アー ルーキーズ！　大阪府立消防学校 初任教育生 月間報告

We are Rookies

W e a r e R o o k i e s !



基本泳法

順下飛び込み

搬送法

水難救助操法

高度専門教育訓練センター
迫田司令補

高度専門教育訓練センター
福田士長

浪速消防署
吉川司令補

中央消防署
氏林司令補

平野消防署
横田司令補

大阪市消防局から5名の講師を招き、4日間にわたり水難救助訓練を行いました。

迅速性が求められる水難救助技術を身に付けるため、基本泳法や救命胴衣の装着方法をはじめ、水面での安全管理や資器材を使用した水難救助操法などを学びました。

水面での意思疎通が図りづらい中で、初任教育生たちは要救助者を救出する難しさを身をもって経験し、更なる研鑽の必要性を改めて感じていました。

強い日差しが照りつける中、短い訓練期間ではありましたが、講師の熱心な指導により、非常に充実した訓練となりました。

これからの初任教育生の活躍にご期待ください。来月号は、校外研修及び視察研修の様子をお届けします。

松原市消防本部

高校生ファイアーボランティア育成講習を実施

松原市消防本部では令和7年8月14日、15日の2日間、松原市内に在住または市内高校に在学中の高校生を対象に、高校生ファイアーボランティア育成講習を実施しました。

高校生を中心とする若者世代のボランティアは、災害復興に大きな力を発揮しています。この取り組みは、将来の防火防災の担い手となる高校生が自助と共助の精神を学び、自らが住んでいる地域や学校で災害時に活躍できる人材となることを目的に実施しています。

今回の講習では、「災害時対策プログラム」として、ボランティアについての講習・避難所運営訓練、「消防士体験プログラム」として、規律訓練・救命講習・救助訓練・消火器・屋内消火栓取扱訓練及び防火服を着用しての放水訓練を体験していただきました。2日間で計15名の高校生が参加し、炎天下の中、一生懸命取り組む姿が見られました。

忠岡町消防本部

事前ミーティングで査察の質を向上！

忠岡町消防本部では、防火対象物及び危険物施設等の査察を年間140件程度実施しています。

令和7年度から査察を実施する前に、当日の査察員と予防課員を含めた事前ミーティングを実施しています。査察を実施する対象物の現況や、過去の指導実績及び重点指導項目等を精査する事で、当日の査察員だけでなく予防課員全員で査察対象物を把握できます。それにより職員の査察知識が向上すると考えています。また、事前ミーティングの実施は、円滑で的確な指導を行うことができ、査察の質が向上するとともに違反対象物の是正に繋がることが期待できます。

更に、査察実施後においても、査察対象物に重大違反や不明点等があった場合には予防課員が主となり査察事後ミーティングを実施しており、情報共有を密にしながら改善策等を協議しています。忠岡町消防本部では、ミーティングにより査察の質を向上することで、1件でも多くの違反対象物を減らし、安心安全なまちづくりのため、これからも火災予防に努めていきます。

交野市消防本部

令和7年度水難救助訓練を実施しました

交野市消防本部では、令和7年6月27日と7月14日の2日間で管内の池を使用して水難事故を想定した救助訓練を実施しました。

近年、大雨等の自然災害による水害や水難事故が多く発生していることもあり、交野市消防本部でも管内の池や河川等を使用して、毎年救助隊により水難救助訓練を行っています。訓練は池に取り残された要救助者を安全かつ確実迅速に救出し、隊員の知識と技能の向上を図ることを目的として行いました。

着水状態での救命ボートや船外機の操作、要救助者を担架へ収容する等の手技は普段の署内の訓練では体験できないため、貴重な訓練となりました。また人事異動等で船外機を初めて操作する職員もいたため、非常に良い機会となりました。

今後も引き続き水難救助訓練に積極的に取り組み、救助隊の結束力及び隊員間の連携強化を高めてまいります。

豊中市消防局

WRS2025でドローン隊が災害想定飛行を実施！

豊中市消防局の災害対応ドローン隊「KITE」が、WRS2025（ワールド・ロボット・サミット）で、消防ドローンを活用した災害想定飛行を披露します。

WRSとは、経済産業省が共催するロボット技術（ドローン含む）の社会実装と研究開発の加速を目的とした4年に1回の国際的イベントで、7月には大阪・関西万博会場でロボット技術競技が開催されています。

今回、ドローン隊の災害想定飛行は、福島ロボットテストフィールドで行われる、ドローン競技「環境過酷F-REIチャレンジ」の決勝となる10月12日に、「トンネル災害」を想定した飛行を行い、ドローン隊の活動を披露します。

世界中からの参加者や来場者、関係団体が見守る中での訓練展示となるため、日本の消防ドローンの活動を目にしていただく良い機会になるとともに、当市ドローン隊にとっても貴重な経験の場となります。

今後も、災害現場での効果的な消防活動を研究し、災害対応力の向上に努めていきます。

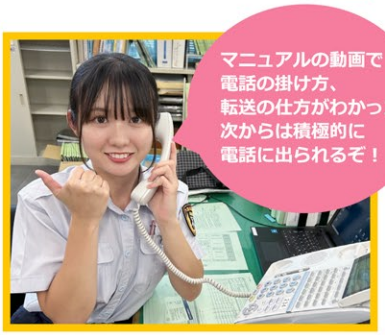
ココ改善！

― 西成消防署の事務改善事例をピックアップ ―

消防学校での初任教育修了後から６カ月間、実務教育を受ける新任実務教育生へ向けたショート動画付き電話対応マニュアルを作成し、実務教育生及び担当者双方の業務効率化を実現した事例を紹介します。

マニュアル作成前

ココ改善！



マニュアル作成後

きっかけは？

新任実務教育制度の見直しにより、消防学校の初任教育修了者を新任実務教育期間の約6カ月間で、予防担当と警防担当に3カ月ずつ配属することになりました。その中で、当署では毎期6名程度を受け入れており、電話対応が多い予防担当者の「実務教育生が入れ替わる度に同じことを繰り返し教えるのは業務の負担では？」、また、実務教育生の「上司に繰り返し質問して怒られないか？」という双方の不安を解消したいと考えました。

取組内容は？

予防担当に多い電話対応についてマニュアル動画を作成しました。異動してすぐの実務教育生の立場になって考え、まずは基本的な電話の受け方、転送の方法、市内・市外局番や携帯電話等の掛け方をまとめました。次に実際の電話対応の例では、最初に学んだ内容の理解をより深めるとともに、相手方に対する言葉遣い等も学べるよう作成しました。

取組後の効果は？

実務教育生は、積極的に電話に出られるようになっただけでなく、検査の予約等、電話をかける際も不安なく掛けることができ、実務教育生の市民接遇の機会も増えるようになったことから、予防担当業務や電話対応への自信につながりました。

改善後の声は？

実務教育生からは、理解が深まるとともに業務の都合に合わせていつでも視聴できるので、業務への影響が少なく、主体的な学習につながったとの声がありました。また、予防担当者からは、繰り返しの説明が必要なくなり、業務の効率化につながったとの声があり、マニュアル動画作成の成果を感じました。

企画課 事務改善担当からのコメント

最近は動画による研修が増えており、自分の都合の良いタイミングで視聴できるメリットがあります。この事例は、動画時間が短いため隙間時間に学んで何度も復習できるのも良い点ですね。今後は警防関係（使用前点検など）の動画も作成される予定とのことなので、若手職員のためにもどんどん推進してほしいです😊

新資器材

次世代のテクニカルレスキューカメラ

～ FIRSTLOOK360LR ～

「FIRSTLOOK360LR」は、画像探索機初の360度ライブストリーミング型救助用カメラで、令和7年2月から本部特別高度救助隊で運用しています。
専用アプリを搭載した、大画面タブレット型ディスプレイと、カメラ本体を接続することで、要救助者と双方向の音声コミュニケーションを取ることが可能です。

諸　元

視野角：360°
伸縮ポール長さ：
　収納時　約81cm
　展開時　約290cm
防水性能：水深3m
　（環境適合型カバー使用時）
作動時間：約5時間

本体ケース

① FL360カメラ
② 伸縮ポール
③ タブレット
④ 操作者用ヘッドセット
⑤ 有線接続コード
⑥ 環境適合型カバー
⑦ タブレット接続アダプター
⑧ CNT式リチウムイオンバッテリー
⑨ 電源部カバー用工具

使用方法

使い方は簡単！

1　カメラの電源を入れる
2　タブレットの電源を入れ、アプリを起動
3　無線か有線で接続
4　各種操作を行う

360° カメラ（FL360カメラ）

一番の強みは360°カメラ。従来の画像探索機II型は、挿入した角度では見えない部分や、把持している手の向きによりカメラの向きが変わり、要救助者の位置や体位などを確実に把握することが難しい場面があった。しかし、360°カメラを搭載しているファーストルックは、死角がなく、今までのサーチングの不安要素を一掃してくれた。FL360カメラには、スピーカーとマイクが内蔵されており、要救助者の声や音を漏らさず拾うことができる。また、救助者の声を要救助者に届けることもできることから、要救助者へ救助が来ていることを認識してもらうことができる。

大画面タブレット型ディスプレイ

モニターに大画面タブレット型ディスプレイを使用、360°カメラで撮影した高解像度の映像から、より正確な情報を把握することができる。高性能な資器材にありがちな使用の際の複雑さはなく、タブレットの左上ボタンを押すと、各ボタンの操作内容が表示されるため、初めて使用する隊員でも安心して使用することができる。

操作説明表示中のディスプレイ

優れた防水機能

通常時はIP67の防水性能が備わり、環境適合型カバーを使用時は水深3メートルまで防水保護可能。
※水中カメラとしては使用不可

おわりに

テクニカルレスキューカメラ「FIRSTLOOK360LR」についてご紹介いたしましたが、いかがでしたでしょうか。

近年、災害が激甚化する中、消防職員には、ますます高度な知識・技術が求められ、資器材の性能は急速に向上しています。「FIRSTLOOK360LR」はその一つであり、過酷な災害現場に希望の光をもたらす素晴らしい資器材です。

本部特別高度救助隊は、人命救助の最後の砦として、高度な資器材を効果的に活用し、最高の救助活動を行い、助けを求めている方々の心にまで寄り添えるよう、日々研鑽を重ねてまいります。

落語DE火の用心

今回のお噺『雁風呂』

皆さん、こんにちわ。今月も、どうぞ、お付き合いを願います。

今回ご紹介するのは「雁風呂（がんぶろ）」というお噺なんですが、大阪ではなく東海道五十三次の26番目の宿場である掛川宿（現在の静岡県掛川市の中心部）が舞台。天保14年（1843年）の記録によると、当時、本陣2軒に旅籠屋が30軒程、960軒の家があったそうです。この掛川宿に、大坂の豪商淀屋辰五郎とテレビドラマでおなじみの水戸黄門の御一行が登場します。さて、どんなお噺かと言いますと…。

江戸から上方への旅の道中、東海道の遠州掛川宿の茶店で休んでいた水戸黄門の御一行。松に雁が描かれている屏風が黄門様の目に止まり、これが室町時代の絵師土佐将監（しょうげん）光信の作であることは分かったものの、松には鶴、雁には月を描くのが普通なので、光信ともあろう絵師が何故に松に雁を描いたのか、その意味が分からずにいる。そこへ、江戸へと向かう二人連れの商人が到着し、屏風を見て「これは結構なものを見せて貰った、光信の絵だ。」と一人が言い、もう一人も屏風の画題が「雁風呂」と見抜きます。並みの商人ではないと思った水戸黄門が名を訊ねると…。

今回のお噺に登場する、江戸時代に大坂で繁栄を極めた豪商「淀屋」。材木商や中之島の開発で財を成し米市場を設立するなど、商都大阪発展の基礎を築きました。淀屋辰五郎という名は代々の当主の通称で、初代は淀屋常安、二代目は淀屋个庵（こあん）、三代目は淀屋箇斎（かさい）、四代目が重當（じゅうとう・しげまさ）で、五代目が廣當（こうとう・ひろまさ）。四代目の重當の頃から、上方以西の大名で淀屋から借金をしていない者はないと言われるぐらい大名貸しが盛んに行われ、その総額は20億両、現在の価値に換算すると120兆円にものぼると言われています。

そんな淀屋ですが、五代目廣當の代に幕府より闕所（けっしょ）処分（財産没収の処分）を受けてしまいます。表向きの理由は「町人の分限を超え、贅沢な生活が目に余る。」というものでしたが、実際は諸大名に対する莫大な金額の貸し付けが理由であったと考察されています。今回のお噺の中では、「先代が闕所処分を受けた」と言っていますので、六代目が水戸黄門に会ったということになりますが、これは創作のようです。

☆御堂筋にかかる「淀屋橋」は、「淀屋」が架けたことからその名がついています。ちなみに淀屋橋を架けたのは二代目の淀屋个庵です。

☆淀屋の碑
（淀屋橋南詰西側）

プチ上方言葉講座

「せえだい」

【意味】
せいぜい・できるだけ
力の及ぶかぎり など

【使用例】
「せえだい、きばって勉強してや。」

さて、今月の消防落語は、私、そなえ亭恐妻が「令和7年度防火標語」と「恐妻家川柳」を紹介させていただきます。いつもどおり、大阪市消防局公式ユーチューブに音源をアップしていますので、是非、聴いてやってください。

大阪市消防局
公式 YouTube

自衛消防隊紹介

医療法人錦秀会 阪和記念病院

自衛消防隊長
藤田 敏晃

第2次救急指定病院として地域医療の一翼を担い高度な医療を提供しています。また地域防災の向上にも貢献できるよう共助の精神で努めてまいります。

今回ご紹介します医療法人錦秀会阪和記念病院は、断らない救急を実践することで地域医療に貢献し、超急性期から慢性期までシームレスで優しい医療を提供し、職域を超えてチーム医療を実践することを理念とする救急告示病院です。

自衛消防隊は昭和52年4月、住吉自衛消防協議会発足当時から入会されて以来、自主防災管理の大原則をよく認識され、同協議会事業にも積極的に参加されています。

平素から一人ひとりが防火・防災意識の高揚を図り、万一の場合に迅速な初動体制が取れるように、消防設備等の維持管理にも努められ、常に危機管理意識を持ち、職域における安全・安心を目指して、日々ご活躍されています。

女性防火クラブだより

港区

私たち港区女性防火クラブは、平成3年に発足。水上消防署管内である築港地区を除いた10連合振興町会で構成されています。

港区は、市の西部に位置する東西に細長い形をした区で、安治川と尻無川に狭まれ、大阪港を擁する海の玄関口に位置します。交通アクセスも良く、観光スポットや商業施設が豊富なエリアとして、子育て世代にも人気がある港区ですが、過去には、高潮や台風などにより、風水害が多く頻発した地域でもあり区民の防災に対する意識は高いです。また今後、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震が起こった場合、港区には114分以内に最大5メートルの津波が到達する恐れがあり、甚大なる被害が予測されます。私たち港区女性防火クラブは、火災や地震、日常の急病・事故に備えるべく、笠井会長を中心に今後も各地域の活動を通じて、火災予防・防災意識の更なる向上と被害の軽減を目的に積極的に啓発を行って参ります。

市民表彰　平野消防署

感謝状を手にする脇野さんと平野消防署 金井署長

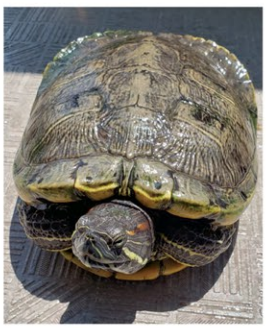
功績概要

令和7年5月16日（金）、株式会社未来都のタクシー運転手である脇野秀隆氏が勤務中、後部座席の乗客が突然体調を崩し、心肺停止となりました。

脇野氏は異変にすぐ気付き、119番通報を行うとともに、救急隊が到着するまで胸骨圧迫による心肺蘇生を続けました。その結果、傷病者は病院到着前に心拍が再開し、現在は意思疎通が可能な状態にまで回復しています。

この救命活動に尽力された脇野氏の勇気ある行動に敬意を表し、平野消防署長より感謝状が贈呈されました。

アニマル環状線　～我が家の癒しをおすそ分け～



15年ほど前、桟橋近くで小さなミドリ亀が2匹、流されまいと係留ロープに必死にしがみついている姿を見つけました。前日の大雨で流されてきたのでしょう。網ですくうと、鮮やかな緑色で愛らしく、当時ペットを飼いたがっていた小学生の息子のため、持ち帰ることに決めました。

最初は2匹とも警戒し、乾燥エビしか食べてくれなかったのでそればかりを与えていると、くる病（ビタミン不足）になってしまい、動物病院へ駆け込んだこともありました。ですが、次第に環境に慣れたのか、エサを食べるようになるとすぐに大きくなって、メスであった2匹をそれぞれ「ひめ」、「チビ」と名付けました。

今では、2匹とも20㎝くらいまで成長し、鮮やかな緑色は黒色に変色してしまいましたが、晴れた日の甲羅干しではのんびりした表情で、おなかが空くと、短い脚で一生懸命ついてくる姿は私たちの癒しになっています。今後も長生きしてもらえるように大事に飼っていきたいです。

天王寺消防署　迫本 晋平

人材育成のヒント Vol.7

雑談力を高めよう

こんにちは、高度専門教育訓練センター人材育成担当です。
このコーナーでは人材育成を推進するにあたり、指導をする上で役立つ「ヒント」を掲載しています。
皆さまの指導者としての能力向上にむけ、職場でのより良い人材育成につながることを願っております。

ー　雑談力とは　ー

「雑」という漢字が入っていることから軽視されがちですが、「何もしなくても雑談はできると考えている人」と「雑談力について考えている人」では圧倒的な差があります。「会話がつづかなかったらどうしよう」「何を話せば良いかわからない」など、不安だから会話をしないという人もいるのではありませんか？

◎雑談に秘められた圧倒的メリット

心理学者のアドラーによれば、「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」とされていますが、雑談力を向上させることによって、次のメリットが期待できます。

- ☑ 良好な人間関係の構築
- ☑ 円滑なチームビルディング
- ☑ チームパフォーマンスの最大化

◎雑談の流れ

雑談には手順があり、[はじめる]≫[広げる]≫[聴く]≫[盛り上げる]≫[好印象を残す]の順番で行うことが勧められています。

はじめる	まずは、あいさつから始めましょう！そして、あいさつに2プラス（ツープラス）することで自然と雑談が始まります。 ※「おはようございます」＋「今朝もランニングですか？」＋「どこまで走ったのですか？」
広げる	次に会話を広げるのですが、相手と自分の共通点について話すことも良いです。また、相手と自分の相違点に興味を持って質問し、共感することでもっと会話が広がります。
聴く	明るい、もしくは共感できる話題であれば問題ありませんが、ネガティブな会話や自分の意見と違う場合もあるでしょう。その場合は共感や励ましを意識し、自分の主張で返すのではなく、少し視点を変えた質問をしてみましょう。
盛り上げる	会話を盛り上げるために面白い話題は必要ありません。「たとえ話」を取り入れることで、相手の心を引き付けることができます。
好印象を残す	相手が話していた内容の中で印象に残ったエピソードを1つ選び、褒めてお礼を言うことで、相手の心に一歩踏み込むことができます。

参考：桐生 稔『雑談の一流、二流、三流』

担当者Kのよもやま話

「よもやま話に花が咲く」という言葉は、雑談や世間話で賑わっている様子を意味する表現として使われますが、私達の日々の暮らしのなかで雑談をしていると、ふと相手の「興味・関心、大切にしていること」などに気づくことはありませんか？

その気づきから相手と信頼関係ができることもあるでしょう。さらに「話す」ことは、自分の感情を自身から「離し」、ストレスを「放す」ことにも繋がります。職場でも気軽な会話を通してチームの信頼関係が深まることで、仕事のパフォーマンスが最大化すると良いですね！

令和6年中の規制対象物における火災発生状況（2）

予防部予防課

はじめに

前号では、予防課が分析した令和6年中に発生した建物火災のうち、規制対象物の火災発生状況を対象物毎にご紹介しました。

今月号では火災発生時における避難、通報、消火活動の実態について見ていきます。

火災の発見と避難状況

■火災発見に至った経過及びその後の行動

規制対象物の火災435件のうち、火災の発見者は、火気取扱者が135件（31・0％）、次いで火元勤務者が68件（15・6％）、火元居住者が58件（13・3％）、同一建物内居住者が50件（11・5％）の順に多く、これらで全体の71・4％を占めています。

発見者の火災発見後の行動としては、「119番通報した」が94件（21・6％）、「消火に従事した」が91件（20・9％）、「人に火災を知らせた」が50件（11・5％）の順に多く、発見者の火災発見後の行動として、「消防機関への通報」または「初期消火活動」が多くを占めています。

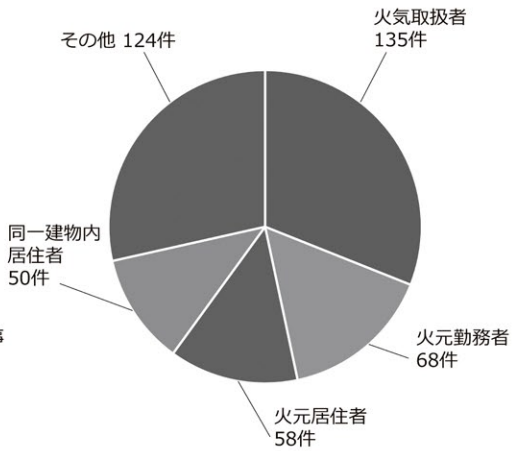


図1 火災の発見者（総数435件）

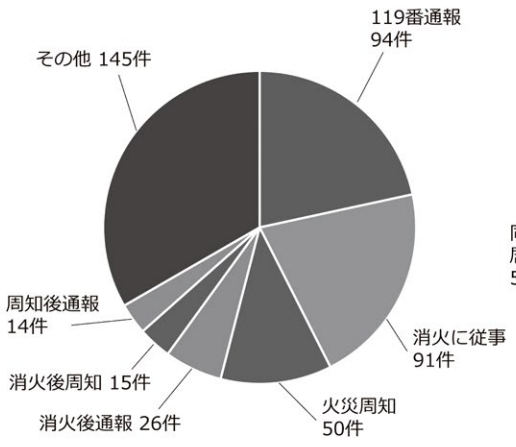


図2 火災発見後の行動（総数435件）

■避難状況

規制対象物の火災435件のうち、出火建物にいた人が避難の際に使用した手段は**表1**の通りです。

なお、避難時に階段を使用していない理由としては、「階段室に煙が充満していた」「火災の規模等の理由により避難をする必要がなかった」等が挙げられました。

初期消火活動

■防火管理者の選任と初期消火活動

規制対象物の火災435件のうち、防火管理者の選任が必要な対象物の火災件数は281件で、選任済は272件、未選任は9件でした。（**表2**）

また、初期消火を必要とした火災396件（自然

表1 避難状況

避難状況	件数	比率(%)
屋内階段	25	41.7
屋外避難階段	12	20
屋内避難階段	10	16.7
屋外階段	9	15
エレベーター	3	5
その他	1	1.7
合計	60	100.0

※数値は、小数点第二位を四捨五入

表2 防火管理者選任別の火災発生率

	要選任	選任済	未選任
対象物数(件)	30.517	29.666	851
火災件数(件)	281	272	9
発生率(%)	0.9	0.9	1.1

※対象物数は敷地単位の数

鎮火等39件を除く※)について、選任済280件のうち、初期消火を実施したものは199件、実施率は71・1%でした。これに対し、未選任116件のうち、初期消火を実施したものは82件、実施率は70・7%でした。このように、初期消火の実施率は、選任済対象物の方が未選任対象物よりも、わずかではありますが高くなっています。(**表3**)

なお、初期消火を実施した場合を1件当たりの焼損床面積で比較すると、選任済対象物は4・3㎡、未選任対象物は5・6㎡で1・3㎡の差が見られました。

※自然鎮火等:スプリンクラー設備が作動し消火したものを含む。

表3 防火管理者の選任と初期消火活動の関係

初期消火活動区分						件数
統計						435
防火管理者選任状況別	選任済	合計				280
		初期消火別	有	小計		199
				効果	完全消火	153
					延焼阻止	11
					効果無	35
			無			81
	未選任	合計				116
		初期消火別	有	小計		82
				効果	完全消火	52
					延焼阻止	2
					効果無	28
			無			34
自然鎮火等						39

※ 選任対象物は、自主選任対象物を含み、未選任対象物は選任義務のないものを含む。

■消防訓練と初期消火活動

規制対象物の火災435件から自然鎮火等39件を除いた396件のうち、消防訓練を過去1年以内に実施した対象物は151件でした。そのうち、火災発生時に初期消火を実施したものは116件、実施率は76・8%(そのうち、完全消火は94件(81・0%)、延焼阻止は5件(4・3%)、効果無は17件(14・7%)となっています。

これに対し、消防訓練を過去1年以内に実施していない対象物は245件でした。そのうち、初期消火を実施したものは165件、実施率は67・3%(そのうち、完全消火は111件(67・3%)、延焼阻止は8件(4・8%)、効果無は46件(27・9%)となっています。このように、初期消火の実施率は、消防訓練を過去1年以内に実施した対象物の方が、実施していない対象物と比較して9・5ポイント高くなっています。(**表4**)

なお、1件当たりの焼損床面積で比較すると、消防訓練を実施した対象物は3・7㎡、消防訓練を実施していない対象物は5・2㎡で1・5㎡の差が見られました。

表4 消防訓練の実施と初期消火活動の関係

統計						435
消防訓練実施状況別	実施済	合計				396
		小計				151
		初期消火別	有	計		116
				効果	完全消火	94
					延焼阻止	5
					効果無	17
			無			35
	未実施	小計				245
		初期消火別	有	計		165
				効果	完全消火	111
					延焼阻止	8
					効果無	46
			無			80
自然鎮火等						39

※ 消防訓練実施状況は、防火管理者の選任等の有無にかかわらず計上したもの。

■初期消火活動とその効果

規制対象物の火災435件から自然鎮火等39件を除いた396件のうち、消火設備により初期消火を実施したものは126件、消火設備以外(水道水等)によるものは155件でした。また、初期消火を実施した281件の火災のうち、完全消火されたものが205件、消防隊到着までの間に初期消火の実施により延焼を阻止したものが13件、合わせて218件あり、初期消火活動による効果があった割合は77・6%でした。

おわりに

消防訓練を実施した規制対象物と実施していない規制対象物では、火災発生時の初期消火実施率の違いが明らかであるという結果を踏まえ、立入検査や訓練指導等において、消防訓練の重要性を認識してもらい、火災による被害の軽減に努めましょう。

次号では、火災発生時における消防用設備等の使用(作動)状況について取り上げる予定です。

教えて○○課！

皆さまの日常業務における素朴な疑問へお答えする「教えて○○課！」
このコーナーでは、皆さまから寄せられる今さら聞けない素朴な疑問について、各担当課がお答えします。
今回は、大阪市職員互助会と大阪消防職員親睦会についてご紹介します。

互助会と親睦会ってどう違うの？

今回答えてくれるのは…
人事課 荻さんです（2回目の登場！）

大阪市職員互助会と大阪市消防職員親睦会は、どちらも会員の福利厚生を目的とした団体ですが、互助会は本市職員相互扶助と福利増進が目的で、職員は原則加入することとなっています。一方、親睦会は消防局に勤務する職員の親睦を深め、健康で心豊かな生活を推進することが目的で、任意加入となっています。つまり、消防局に勤務する職員は福利厚生が2つもあってお得なんです!!

大阪市職員互助会

職員の相互扶助と福利増進を目的として発足し、本務職員とフルタイムの再任用職員が原則加入しています。

管 轄	一般財団法人 大阪市職員互助会
加入資格	本市職員（再任用フルタイム含）
会員数	26,127人
月会費	給与の4/1,000（市互助掛金として給与控除）
アウトソーシング事業	ベネフィット・ワンわくわくプラン

大阪市職員互助会 HP

大阪市消防職員親睦会

会員相互の親睦を深め、健康で心豊かな生活を推進することを目的として、平成19年に発足し、消防局に勤務する職員であれば、誰でも加入することができます。

管 轄	消防局企画部人事課
加入資格	消防局に勤務する職員
会員数	3,288人
月会費	1,000円（厚生団体費として給与控除）
アウトソーシング事業	リロクラブ リフレッシュプラン

大阪市消防職員親睦会
～ 大阪消防を支える心とつながりの輪 ～

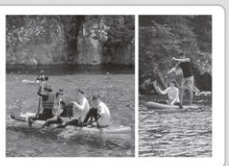
消防職員親睦会だけのお得な事業を紹介します

リロクラブ

令和6年度より、リロクラブと契約することで各種宿泊割引、生活支援メニューを充実させています。また、リフレッシュプランとして5,000ポイントが付与され、ギフト券やスポーツ用品の購入に充てることができますので、忘れずに使用してください。

厚生物品貸出事業（無料レンタル）

- 大小スーツケース
- 一眼レフカメラ
- 各種アウトドア用品（テント／充電式保冷温庫／ポータブル電源）
- 最新アクションカメラ GoPro Insta360
- 4K ビデオカメラ
- 婚礼用防火衣セット
- ハワイ発祥のウォーターアクティビティ SUP



その他

会員制宿泊施設「ザ・グランリゾート」の優待利用や温浴施設の入場料助成さらには記念品（商品券等）もあるのでお得がいっぱい。

※ 大阪市消防職員親睦会の詳細については、庁内ポータルでご確認いただけます。

今回の「教えて○○課！」いかがでしたか。
さて、次回はどの担当課が、どんな疑問に答えてくれるのでしょうか。ぜひお楽しみに。
皆さまからの素朴な疑問は随時募集しています。ぜひ編集部までお寄せください！
【企画課大阪消防編集部】 pa0110@city.osaka.lg.jp ☎ 06-4393-6036

Vol. 214

健康ダイアリー

企画部　人事課

尿たんぱくって何？

今回は尿たんぱくについてご紹介します。

激しい運動や発熱などで一時的に尿中にたんぱく質が検出される場合もありますが、通常、健康な人の尿中に多量のたんぱく質は含まれません。

腎臓の病気は自覚症状が分かりにくいため、知らない間に腎臓の機能が低下し、病気が隠れていることがあります。

腎臓の働き

血液中の老廃物や塩分、カリウム、マグネシウムなどのミネラルをろ過し、余分な水分を尿として体外に排出します。そして、血液を浄化し体の化学的なバランスを保つ働きをしています。

また、血圧を調整するレニンや赤血球の産生を亢進させるエリスロポエチンというホルモンを分泌しています。さらに、カルシウムとリンの吸収に関与するビタミンDは腎臓で活性化されています。

- **余分なものを排泄する**
- **赤血球の産生を促すホルモンをつくる**
- **血圧をコントロールする**
- **ビタミンDを活性化して骨を健康にする**

尿たんぱくが出る病気

腎　炎： 腎臓の細菌感染や尿管の狭窄により炎症を起こします。特に糸球体腎炎は尿たんぱくを伴うことが多く、血尿が出ることもあります。

糖尿病： 長期の高血糖により腎臓のフィルター機能を損傷し、尿たんぱくが出現します。

高血圧： 血管への負担で腎臓を損傷し、尿たんぱくを引き起こします。

ネフローゼ症候群： 腎糸球体が損傷し、血液中のたんぱく質が尿中へ大量に流れでてしまう病気です。浮腫みを伴うことが多いです。

受診の目安

★ 健康診断で尿たんぱく陽性になる　★ むくみや疲労感、倦怠感が続く
★ 尿の色や頻度に異常がある

体調に異変を感じた場合は、無理せず受診しましょう。

参考：日本腎臓学会（編）『患者さんとご家族のためのCKD療養ガイド2024』

救急隊員のための

現場に活かす！救急救命士国家試験問題

高度専門教育訓練センター（救命士養成担当）

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中でも救急隊員が活動する災害現場で知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。今月は呼吸不全に関する問題です。高齢化の進展に伴い「在宅療法継続中の傷病者」にかかる、原疾患の悪化、合併症の発生、さらには医療機器の不具合などを原因とする救急要請が増加しています。病態と適切な措置をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第47回（令和6年3月）D問題

78歳の男性。慢性肺疾患で在宅酸素療法中。朝に意識を失っているのを家族が発見して救急要請した。

救急隊到着時観察所見：意識JCS100。呼吸数6/分。脈拍72/分、整。血圧162/92mmHg。体温35.0℃。SpO_2値82%（酸素2L/分投与中）。四肢の麻痺は認めない。「前日の受診時に酸素量が増量された。」と家族から聴取した。

この傷病者への処置で最も有効なのはどれか。1つ選べ。

1. 血糖値の測定
2. 電気毛布での保温
3. ベンチュリーマスクによる酸素投与
4. バッグ・バルブ・マスクによる換気
5. リザーバ付き酸素マスクによる酸素投与

ヒントレベル 在宅酸素療法

- 適応➡慢性呼吸不全で比較的病状の安定している患者
- 原因疾患➡成人では慢性閉塞性肺疾患（COPD）や肺結核後遺症が多い
- 低流量の酸素によってSpO_2値を90%程度にコントロールされていることが多い
- 観察➡機器の不具合？原疾患自体の増悪？
- 対応➡酸素が正常に供給されているか確認後バイタルサイン測定

ヒントレベル 高二酸化炭素血症

- $PaCO_2$が異常に高い状態（一般的に$PaCO_2$値≧46 mm Hg）
- 低酸素血症と異なり呼吸不全における死因とはならないが …
- 脳血管の拡張により頭蓋内圧が上昇し頭痛や意識障害をきたす。

ヒントレベル CO_2ナルコーシス

- 高二酸化炭素血症により意識障害をきたした状態
- 慢性呼吸不全の急性増悪のほか、不用意な高流量酸素や睡眠薬の投与によるものもみられる。

ヒントレベル 呼吸不全の対応

- 高二酸化炭素血症やCO_2ナルコーシスに対しては補助換気が必要である。

酸素供給装置（膜型酸素濃縮器）の例

家庭用電源で大気中より膜を通して空気を取り込み、最大90%の濃度の酸素を供給できる。

解答・解説

解答 4 バッグ・バルブ・マスクによる換気

意識障害、慢性肺疾患、在宅酸素療法での酸素投与量の増量、徐呼吸からCO_2ナルコーシスを疑う。高二酸化炭素血症やCO_2ナルコーシスに対しては補助換気が必要である。【←救急隊員として知っておくべきポイント】ベンチュリーマスクやリザーバ付き酸素マスクでは低換気は改善しない。

（参考・引用　株式会社へるす出版「第47回　救急救命士国家試験問題　解答・解説集」）

消防漢字ガール

Fire Fighter Kanji Girl

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

【倒】

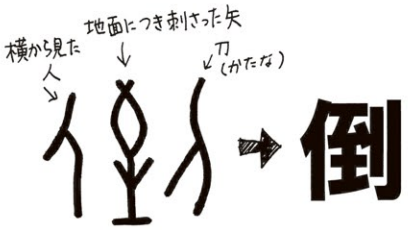
意味：たおれる。たおす。ひっくりかえす。さかさま。
状態がはなはだしい。ひどく。激しく。

今月の漢字は転倒の「倒」です。調べてみたら、なんと、1997年の今年の漢字第1位に選ばれていました。その理由は、金融機関や大企業の相次ぐ倒産に加え、ダイアナ元妃やマザー・テレサ、鄧小平氏が病や事故に倒れ死去したことなど、それまでの神話や社会のシステムなどが次々と倒れたことと、明るい話題としては、サッカーの日本代表が並いる強豪を倒して初のW杯出場を決めた年だからなんですって。（なるほどぉ～。）
※（公財）日本漢字能力検定協会による。

さて、そんな「倒」の文字ですが、「横から見た人」の象形と「矢が地面に突き刺さった」象形、そして「刀」の象形から、人がはじけるように「たおれる」を意味する漢字として成り立ちました。

音読みは「トウ」、訓読みは「たお（す）」、「たお（れる）」。画数は「10画」で、部首は「亻（にんべん）」です。

※訓読み⇒（）の中は「送りがな」



あなたの目の前で人が「倒」れたらどうしますか？
その倒れた人があなたの大切な人だったら何ができますか？
少しの勇気と少しの知識で救える命があります。
命を救うために必要なものは専門的な知識や高度な技術ではなく、
あなたの「勇気」です。
まずは救命講習を受ける「勇気」を一歩踏み出してみませんか？
〈救命講習等のご案内〉 https://www.city.osaka.lg.jp/shobo/page/0000584647.html

救命講習等のご案内

ということで、わたしも昼からの救命講習の準備をしなきゃ。　じゃぁねー。

【今月の警防担当司令の迷言】
「しもた、冷蔵庫に入れといた納豆、賞味期限過ぎてしもてるわ。でも、まぁ、元々腐ってんねんから大丈夫やろ。」
（司令、納豆は「腐敗」している食品ではなく「発酵」している食品です。）

救急安心センターおおさか だより

やってきた食欲の秋！

ようやく残暑も落ち着き、様々な食材が旬を迎えます。そう、食欲の秋がやってきました！

サンマや秋鮭、秋サバ等脂がのって美味しいですよね。そんなおいしいお魚たちを食べている時にうっかり喉に骨が刺さってしまった！なんてことありませんか？そんな魚の骨に関する相談が、救急安心センターおおさかにも寄せられていましたので紹介します。

女子児童 7歳 （家族からの相談）
魚を食べていたところ、喉に骨が刺さってしまい取れない。

女性 22歳 （家族からの相談）
魚の骨が喉に刺さってしまい、声を出すと痛みがある。

魚の骨が喉に刺さると喉に違和感や痛みが生じます。ごはんを食べることで刺さった骨が取れると聞いたことがあると思いますが、実際には骨がさらに深く刺さってしまい逆効果になってしまう恐れがあります。自然に取れることや、うがいをすることで取れることもありますが、取れない場合は耳鼻咽喉科を受診し取ってもらうことが可能です。

ただし、深夜帯に診察している耳鼻咽喉科は少なく、受診したくても病院がかなり遠方になることもあります。秋の美味しい魚を安心して楽しむためにも、魚の骨には十分注意しながら秋の味覚をお楽しみください。

今回紹介したような症状で病院へ行くべきか迷った場合、近くの救急病院をお探しの時は＃7119または06-6582-7119にお電話ください。緊急度の判定は、総務省消防庁の全国版救急受診アプリ（Q助）でも判定することができます。また近くの病院・診療所を含めお探しの場合は、厚生労働省の医療情報ネット（ナビイ）で検索できますので合わせてご活用ください。

全国版救急受診アプリ
総務省消防庁
緊急度判定

医療情報ネット
厚生労働省
病院案内

救急安心センター着信件数（令和７年８月）

令和７年８月の着信件数（１日あたりの件数）	32,456件（約1,046件）
対前年同月比	650件増加

Facebook

X
（旧：Twitter）

Instagram

YouTube

SNSやってます

編集後記

4月13日に開幕した、「2025年大阪・関西万博」は10月13日で閉幕となります。これまで、来場者の皆さまに安心して楽しんでいただける万博を目指し、準備期間から現在まで万博消防センターは様々な活動を実施してきました。その活動から今回は、「会場内訓練」について紹介しています。閉幕までの残りの期間も、これまで同様、安全・安心な万博を楽しんでいただくため、万博消防センターは職務を全うします。最後まで「万博会場は私たちが守ります」。ご一読ください。（T）

表紙のウラ側

今回の表紙は夜の大屋根リングと万博PI。

真っ暗な夜空と光る大屋根リングの対比は荘厳で圧倒されますね。

大阪消防　令和７年10月号　第76巻第10号　通巻第907号

発　行　大阪消防清風会
企画・監修　大阪市消防局
年間購読料　年間 5,940 円（消費税・送本手数料含む）
制作・販売　株式会社サイネックス

編　集　大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
ＴＥＬ　06-4393-6036
ＦＡＸ　06-4393-5120
Eメール　pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

Facebook

イベントのお知らせや開催の様子を紹介！

緊急情報や火災予防、予防救急に関する情報はこちら！

X（旧：Twitter）

Osaka Fire Dept.

大阪市消防局

公式SNS

公式SNSを活用して最新の情報を発信しています。フォロー＆いいね！を待ってます！

消防隊のリアルな訓練の様子を発信！

Instagram

各種イベントや火災予防を楽しく学べる動画はこちら！

YouTube

住宅用火災警報器は
10年で交換!!
自動試験機能付
テスト/音を止める
10年で交換やでぇ
よそ見すなー!
ガクテンソク
火災から
命を守る
準備を
住宅用火災警報器は
定期的に点検し、
10年を目安に
交換してください
大阪府下消防長会
吉本興業
協賛：(一財)大阪消防振興協会・(一社)大阪市防火管理協会
(一財)大阪府消防防災協会
住宅用火災警報器のお問い合わせは
最寄りの消防本部・消防署まで
住宅用火災警報器
ムービー公開中!